完全勝利の確保へ！

飯田最高指揮官・布告 ビルマに軍政施行

【ビルマ○○五日同盟】飯田ビルマ方面最高指揮官は四日軍政施行に關する布告を發しビルマ民衆の進むべき道を明示、その協力を要望するとともに大東亞戰爭の理想を完遂せんとする意志を闡明したが、同日午後二時ビルマ○○に元首相バーモ博士をはじめ長年反英獨立のため英國と鬪ひ來つた、ビルマ要人百名を招集してビルマ中央行政機關設立準備委員會結成式を擧行、バーモ氏を委員長にタキン・ミヤ以下九氏を委員に任命した、新しきビルマ建設の名譽を擔つたバーモ氏以下は最高指揮官に對し日本軍に協力全力を擧げて努力すべきことを誓つて式を終つた

軍政施行及び中央行政機關設立準備委員會結成に關する布告

大日本軍はビルマにおいて戰史未曾有の赫々たる戰果をもつて英蔣聯合軍を殲滅せり、また香港、マレー、フィリッピン、ボルネオ、ジャバ、スマトラの諸島を含む大東亞地域もすでに戡定終り、武威さらに濠洲、印度を壓しつゝあり、大東亞戰爭開始以來半歳にして東亞における英米勢力は一掃せられ特に英帝國の崩壞の兆は著るしきものあり、アジヤの前途は將に洋々たり、然りといへども長期戰への移行は豫期せざるべからず、完勝への道はなほまだ遼遠なり、軍は大東亞戰爭の完勝を期するため軍の占據せるビルマ地方に軍政を施行せんとす、軍政下においては利敵行爲、反日行爲および軍の命令に違反することは許さず、もしこれを犯すものある時はその何人たるを問はず些も假借せず峻嚴にこれを處斷す、また戰爭遂行上余が必要と認むる處置は何人の要請をもうくることなくこれを遂行すべし、親愛なるビルマ民衆よ、余は本次作戰間諸士のわが軍に對し示したる深厚なる好意の各種の例を知悉しありて諸士に對する信愛の情はいよ〳〵深きを加へたり、またわが東條首相がビルマ獨立に關してなせる聲明は獨り首相の意志に止まらず、日本國民全體のビルマに對する厥情を表すものにして、また實に諸士とともに速かにその時期の到來せんことを希求しあるところなり、しかれども現在の段階はいまだビルマの獨立を實施すべき時機に達せず、蓋し大東亞戰爭における完全なる勝利なくしてアジヤの復興なくまたビルマの獨立なし、現下まづ求むべきは大東亞戰爭におけるわれらの完全なる勝利とす、今や一切の施策を擧げて戰爭の勝利に歸一せしむべき時とす、これ軍が軍政を施行する所以にして諸士は軍の眞意を理解し衷心よりわが軍政に協力せんことを期す、余は軍政下において勝利の追求を第一義として一切の施策をなすべしといへども、他面無用の壓迫乃至は干渉は極力これを避け努めて民意を尊重し、任すべきものはなるべくこれをビルマ人自身の手に任せつゝビルマの育成發展に努めもつて相携へてアジヤ民族共存共榮の道を邁進せんとするものなり、これがため努めて速かに中央行政機關を設立せんことを企圖し本日その設立準備委員會を結成せしめ左の人物を委員に任命せり、委員會は本日以後中央行政機關設立準備に任ずるとともに余の指揮下にありて治安の回復、産業の復興など緊急を要する行政事務につき余を補佐し、また自らこれを擁護しもつてビルマ民衆の擁護に任ずべし、諸士は速にわが軍の眞意を理解し安んじてその堵につき各その生業に精勵するとともに中央行政機關設立準備委員會とともにわが軍に對する協力の實をいよ〳〵發揮せんことを希望す

ドクター・バーモ、タキン・ミヤ、タキン・トンオク、ドクター・テーン・マウン、ウ・ラ・ペ、タキン・ヌウ、バンドラ・ウ・センタキン・バセイン、ウ・バ・テイン

昭和十七年六月四日 大日本軍司令官 飯田祥二郎

戰前の呼號空しく 憐れ墮つ葬送艦隊

平出海軍大佐放送 特殊潜航艇の活躍

平出海軍大佐

【東京電話】大本營報道部課長平出英夫大佐は五日午後七時より約十五分間にわたりＫＡのマイクを通じ「マダガスカルおよびシドニー强襲について」と題し左の如き放送を行つた

わが特殊潜航艇は五月三十一日未明マダガスカル島最大の敵根據地であるデエゴスワレズ港に對し決死 [illegible]

巡洋艦一隻

[illegible]

猛襲の前に

[illegible]

ケンも『アメリカの援助により濠洲の防衛は安泰である』と氣安め的に强がりをいつてゐたの [illegible]

[illegible] 防衛上より生ずる不一致の間隙に乘ぜられたことを意味するからである、ことにわが水上艦艇が珊瑚海の制海權を掌握して遠くシドニーに現れてゐることさへ米濠の飛行機が發見出來なかつたといふことは、その責任が米濠いづれかにあるやは論ぜずしても、濠洲防備が崩壞の直前にあることを珊瑚海々戰に引續き事實をもつて證明してゐるものといへやう、珊瑚海 [illegible] して起つた壯烈な夜戰によつてシドニー市民の眼の前でアメリカの信用を全く失墜したことが彼等にとつて如何に致命的大失敗であつたかを自省すべきである、アメリカ海軍は珊瑚海の頽勢を挽回せんとして脆くも潰え殘された唯一の米濠連絡線である

東南太平洋

ルートを死守すべく少將シャフロスを新たに東南太平洋アメリカ海軍司令官に任命し濠洲防衛に躍起となつてゐる状況であるが、この最後の時みとする米濠連絡線も今や全く危殆に瀕するに至りアメリカ星條旗の星は日本軍艦旗の旭光の前に一つ〳〵消え去りつゝある

今次大東亞戰爭の經過から致してもはつきりするやうに、アメリカ海軍は日本海軍の敵ではなくその實力においても勢力においてもここ三年や五年では到底われわれにおよびもつかぬ、すなはち出擊すれば叩かれ反擊せんとすれば擊滅され葬送艦隊に墮し去つたものである、東條首相は世界に向く宣言いたして濠洲が日本の誓詞たらんことを懇々忠告してをらるゝが、濠洲人民は今こそ冷靜に、公正にこ [illegible]

當にならぬ

[illegible]

……の事實を靜觀すべきである、濠洲にして數次に亘る日本の警告を無……限に附し與へられた數ケ月の餘……を無駄に過ごし反省の形跡認め……れなければ大慘禍が濠洲の平和……を見舞ひ濠洲は全く取り返しのつかぬ修羅地獄となるであらう

日本は敵に廻る者に對しては……るべき猛攻を加へることは既……開戰以來立證された通りであ……味方となる者に對しては溫か……友情、謙讓な態度を以て當る……とはこれまた事實をもつて立……に證明出來る、御承知の通り……印においては賢明なる政治家……米英を賴らず日本と提携して……安全にして豐かな文化生活を……受してゐる、これに反し蘭印……どうであらうか

……『もし聯合國側が……遲延するのなら當局はな……るのか』と……の政策に盲從せし……

老獪極まる

……トリビューン紙の……スはアメリカをし……行動を……に最近のアメリカ……スの指導による謀……と論じ『もはやイ……時は到來だ』と極へ……ある一方イギリスに……チルは堂々たる國……て『戰爭の結果は……ることであり天才で……戰爭を左右すること……と例のやうに濟まし……に對し前陸相ホア・……したダフ・クーパー……リス帝國の危機を指……本にゐた新聞記者ヒ……ＢＣＤの對日包圍陣……も『日本の實力を過……な』と警告してゐる……態振りが察せられる

米英の失敗は『日本を甘くみたからである』との評論は今や彼ら國民の中で自國政府排擊の聲となつて現れルーズベルトも遂に『アメリカの船舶狀態は非常に惡化してきた、アメリカ人は問題の重要性に目覺めねばならぬ』と告白するに至つた、かかる現實を濠洲は冷靜に勇敢に認識しなければならぬ、油のない、ゴムのない、戰艦のない、しかも人口少く海上權さへもつてゐない濠洲が無駄な戰爭を敢へてしようとするのは判斷に苦しむ、しかしながら殘された數ケ月の間に濠洲は否が應でもその態度を決定しなければならぬ、若し敢て戰はんとすればわれに

濠洲擊滅の

成算がある、又若し和して提携せんとすればわれ等はこれを迎へるであらうことをもう一度つけ加へて置きたい

次にマダガスカル襲擊について申上げる、シドニー强襲と日も同じ五月三十一日わが特殊潜航艇は英米が恰度一ケ月前理不盡にも占領した佛領マダガスカル島の北端の英海軍前進根據地であるデエゴスワレズ港に在泊する英艦隊を奇襲し見事港內突入に成功英戰艦クヰンエリザベス型一隻、同輕巡アレスーサ型一隻を擊破したのである

その詳細は未だ申上る域に至つてをらぬ、既に印度洋東半部を制壓中のわが海軍が遠くアフリカ東岸にまでも英艦隊を追つて作戰いたしてをることは印度に取つても追々と重大なる影響を及ぼすことを確信するのであつて英海軍力の日に〳〵凋落の一途を辿つてゐることを如實に證明する、われ〳〵はこの明快なる意志表示をもつて英國の生命線である印度および近東線が遠からず遮斷されることを豫言すると共に南洋圈の確保を更に强化し大戰略態勢を形成した點が早くも巨大な戰力を蓄積し東へも西へも南へもさらに大攻勢を開始し得る戰力を整備したことを世界に向つて表示したものと思ふ

何れ英國艦隊も堪りかねて印度洋の東部に突進してくるであらうがこの孫子の所謂『餌兵』每度申す通りわが方の思ふ壺であつて第二第三のわが術中に陷ることゝ信ずる、さらに英米の呼號するやう

歐洲第二戰

線等を悠長にやつてゐる限り帝國海軍はドイツ、イタリーに呼應して印度洋を徹底的に荒し廻るであらうし印度洋に兵力を集中してくれば前に申す通りわが術中に陷るのは必然であつて英國は進退兩難に陷るであらうチャーチルの如き政治家が英國また海軍の統帥を左右してゐる限りイギリス海軍の作戰は前大戰のダーダネルス攻略の大失敗や今次大戰のマレー海戰、あるひはセイロン敗戰のやうに失敗に次ぐ失敗を重ねることは昔から兵術の原則がこれをいましめてゐるところであり統帥權問題のやかましいのもそこから來てゐるので英米海軍士官も實は氣の毒な點もあるのでチャーチル、ルーズベルトなどの政治家が作戰を實質的に左右してゐる限りよい手が打てるはずはないのである、これに氣付かざる限り英米海軍は凋落の一路を辿るものと信ずる次第である

鮮滿纎維業者 貿易懇談會開く 十五、六日朝鮮ホテルで

[illegible] 纎維製品の輸出機構、紡績、人絹、ミシン各工業の現狀並に將來について說明後、纎維製品の滿洲向け販賣價格基準、通關手續の簡易化並に對滿纎維出手續の簡易化、輸送貨車の配置等について隔意なき意見を交換する筈で、この結果鮮滿間の纎維貿易は著るしく円滑化するものと期待されてゐる

雄渾無比珊瑚海大海戰記

瞬時に決す勝敗 卓絶す！海鷲の威力

【○○基地にて村上海軍報道班員發】大東亞戰爭開始以來、最大の豪壯大規模な海戰が行はれた—名付けて『珊瑚海々戰』と呼ぶ、五月七、八日の兩日にわたる海戰がこれである、四五月は勝利の月である、『われ〳〵は全面的攻勢に出でん』とのルーズベルト大統領の豪語を裏付けるが如く、アメリカ艦隊を中心に英濠艦隊を混へた反樞軸聯合艦隊の主力は開戰以來の頽勢と國內の非難の輿論を一氣に挽回すべく氣丈にも堂々の陣形を整へて進擊し來つたのである、わが交通線の破壞と濠南洋のわが前進基地の奪回を目指して珊瑚海上に彷徨すること四日、遂に精鋭なる帝國海軍航空部隊に發見され戰艦一、航空母艦二、戰艦一、甲巡二、給油艦一、驅逐艦一を瞬時にして失ひ、殘餘は算を亂して潰走、こゝにその反攻企圖は全く挫折し去つたのであるが、この海戰において示された海軍航空部隊の驚嘆すべき威力と戰艦對長距離雷擊機空母の海戰の雄大豪壯さは近代海戰史上永久に特記さるべきものである、しかもこの海戰に參加した海軍航空部隊の輝かしき戰果は逸早く上聞に達し畏くも勅語を賜はるの光榮に浴したのである、記者はこの輝ける實施部隊と起居をともにし親しくその全貌を記錄する機會を得た、以下はその全文である

敵艦見ゆ！勇躍基地出發

濠南洋の最前線基地○○飛行場にずらりと並んだわが攻擊機は淸澄な夜明けの空氣をふるはせて快よいエンヂンの音を立ててゐた、五月七日の早朝である、敵の大機動部隊が珊瑚海に現れたといふ報は昨日すでに入つてゐた、だがわが攻擊隊は滿を持してぢつと動かなかつた、敵の動きが的確なものとなるまで決して發動してはならぬ必殺の一擊であつた、索敵機は八方に飛び敵の動きを追及しつゝ一日が暮れて行つた、攻擊隊の指揮官は夜遲くまで分隊長達と作戰を練つてゐた、まだ見たこともない大きな獲物を前にしてその夜の基地は大きな興奮と緊張に包まれてゐた、焦立たしい一夜が明けると索敵機は夜明けを待ち切れぬやうに薄明の基地を飛び立つて行つた、指揮所ではいつでも飛び出せるやうに飛行服に身を固めた分隊長達が司令を圍んで索敵機からの第一報を待ち侘びてゐた『昨夜のうちに敵は大分北上してゐるに違ひない』それなのに未だどこからも何とも報じて來ない、『をかしい、逃げやがつたかな』一中隊長は獨り言のやうにいつて時計をみた、針は七時五分を指してゐた、恰度この時だつた、電信兵が受信したばかりの電報を讀み上げる聲がした『敵らしきものみゆ、ロッセル島の西八十二浬』さつと激しい緊張が指揮所內を流れた『出動用意』續いて司令が斷乎たる口調で命令した『攻擊の實施は冷靜沈着極力で敵の殲滅を期せよ』短いが決意に充ちた司令の訓示に應へて整列を終つた攻擊隊の隊員は銳い眼差しに必勝の氣魄をこめて無言の訣別を送るのだつた、かくて決死の雷擊機は爆音高らかに勇躍基地を出發して行つた、續いて爆擊隊の大編隊も○時○分つぎ〳〵に離陸を開始した

スコールの下、編隊飛行

數分の後雷擊隊は魚雷を抱いた○○機の雷擊機は見事な編隊を組んで南へ南へと快翔を續けてゐた、行く手を見るとはるか前方に巨大な黑い積亂雲が擴がり物凄いスコールが雲の下から海面まで簾のやうに視界を遮つてゐた、七時四十分『敵機動部隊の位置はパニート島の東南百六十五浬』といふ電報が入つたが、敵艦隊は相當のスピードで西へ向けて走つてゐるらしい、編隊は恰度積亂雲の上空にかかつてゐた、眼下には雲海が果しなく擴がつてゐる、八時さらに敵艦の位置はパニート島の百二十浬に進んだことが報ぜられた、編隊は漸く雲海を通り越した、すると行く手は雲一つない快晴の海が深い綠を湛へて擴がり急に視界が展けて來た、つゞいて觸接機の無電が『敵の位置パニート島の眞南百五十浬針路百八十度、速力二十節』と慌しく報じて來た、先頭の一番機の中で航空圖に刻々に變つて行く敵の針路をコンパスで追ひ續けてゐた指揮官は、この時『はつ』と顏を擧げた、さうして『南下して逃げてるな』とつぶやいた、なる程、敵艦隊の足どりは大きなヂグザグ運動を描いてゐる、わが方の觸接機に追ひかけられた敵はこの觸接機を振り離すべく全力をもつてこの奇妙な進み方をしてゐるのだらう、指揮官は敵の行動をかう判斷した、九時半『敵針路三十度』と短い電報が入つた、敵艦は再び西北方へぐつと針路を變へたのだ『よし東から廻つて攫さう』指揮官はかう決心した、と同時に『全員配置に就け』の信號ベルがぐーぐーと機內に鳴り響いた、編隊は恰度ダグラ島の上で大きく右へ旋回した、ダグラ島の右手を離れると海上は一面低い雲で蔽はれてゐた雲の中を編隊はぐつと高度を下げて海面すれ〳〵に雲下に出た、だが雲下は激しいスコールだつた、窓硝子を叩く雨脚の激しさは視界一面を濛々と煙らせ僚機の位置も判らなくなる程だつた、編隊飛行では苦しい、もつとも困難なスコール下の飛行がはじまつた

珊瑚海

パニート島

サマライ

ロッセル島

ダグラ島

7日7時5分敵艦發見の場所

7日12時30分 海戰の場所

8日9時20分 海戰の場所

敵艦か、眼下に白い波頭

高度をとると編隊は直ぐ分厚い雲の中に突込む、これはスコールに打たれて飛ぶより遙に危險だ、だがスコールから逃げようとすればぐつと針路を變へねばならない、されば全速で逃げて行く敵との距離をます〳〵大きくするばかりだ、針路を變へることは許されない、このまゝ遮二無二つき切つて進むのだ、視界は惡い、このスコールの下にめざす敵艦が隱れてゐないと誰が保證出來よう、編隊はスコールに叩かれながらひたむきにつき進むのだつた、偵察員も機銃手も暗い視界を透してゐるやうな視線を數百米下の海面に走らせてゐる、海上はスコールで灰色に煙り大きな白い波頭が無數に走つてゐる、ぢつと見つめてゐるとふとこれが航跡に見えた、偵察訓練で見たあの白い眞直ぐな航跡が網膜一帶にぐつと展つて行くやうな氣がした、はつとして見直すと白い波頭が大きくうねつてゐるのだつた、幾重にも重り合つた積亂雲の中で何時の間にか誘導機と離れ〴〵になつてしまつて雷擊機の針路の遙か北方を飛んでゐた、編隊の周圍には巨大な雲の峰がぎら〳〵とまぶしく輝きながら幾つも聳え立つてゐた、雲の谷間を左右と縫つて飛び續けるうち、ちらつと雲の切目から窺つた青い海面に二、三本眞つ白い航跡が見えた『敵だ』一番機はこの時輕快な燕のやうに身を進めたかと思ふとすつと雲の下に出た、編隊がそれに續いた、このとたん編隊のすぐ横にぱツく〳〵と黑い高角砲の砲煙が擧つた

敵砲煙だ、突ツ込む編隊

雷擊機隊は息詰るやうなスコールの中で敵に出會ふやうにと一心に祈り續けてゐた、針路を東南に向けたまゝ一時間半位雨と靄ひながら飛び續けた頃、ざつと前方の視界が急に明るくなつたかと思ふと南の海がまぶしく浮かび出した、スコールを出たのだ、周圍は繪のやうに鮮明な海水だつた、だが敵は見えない、もうとつくに敵を發見せねばならぬ時刻だが、指揮官機は機首を大きく下に向けた、僚機がそれに續いた、その時だつた、一番機の偵察員が三十浬位前方に汚れた綿雲のやうな塊りが三つ四つぽつかり浮いてゐるのを發見した、雲は白い大きな綿雲だつた、おやと思つて注意すると綿雲が少しづつ煙のやうに崩れて行くではないか『砲煙が見えます』偵察員は夢中で指揮官に合圖した、見ればさらに新しい塊りが浮いてゐる、そしてその間を味方の○○機が三機斜に飛んでゐる『敵の高角砲だ』どつと機に歡聲があがつた、すぐ右前方に大きな積亂雲があつた、指揮官機はこの雲の背後へ機首を曲げた、そして雲の蔭で隊形を整へるやうに僚機へ命令を發した、僚機は整然と見事な編隊でつけて來るかと見るや瞬く間に突擊態勢を整へた、十二時三十分であつた

つひに捕へたり、敵艦隊

見ると、指揮官機を先頭に○○隊の全機はぐつと機首を下げ雲の蔭から一氣に前方に突つ込むところだつた、○○隊もすぐあとを續いた、機首を下げると同時に見えた！遙か彼方に敵の大艦隊は白い航跡を曳き西に向つて走つてゐたのだ、先頭に驅逐艦三隻の直衞を配した戰艦二隻と甲巡二隻が二列に並び、そのあとに驅逐艦二隻が殿艦してゐる、見事な警戒航行序列だ、速力は全速に近い高速だつた、各艦が搔き立てる白波が高い艦首を作つて痛い程眼にしみるのだつた、突つ込んだ列機が一齊に雲から出た時、敵艦は既にもう直ぐ眼の前に迫つてゐた、白と黑の波形の迷彩をほどこした一番艦だ、三番艦の巨大な艦體、齊味の勝つたどす黑い二番艦の逞しい姿がひどく印象的だつた、○○隊機が海面すれ〳〵に敵艦隊の横腹めがけて突進して行つた、とその前方にぱーつと一面赤褐色の閃光が走つたかと思ふと、瞬間、海上は飛行機の高度すれ〳〵に三百米位の幅の淺黑い彈幕に蔽はれてしまつた、彈幕の下で五、六本大きな水柱が上つてゐる、主砲を擊つてゐるのだ、搭乘員達は一齊にかう直感した、敵主力艦はこの時海面すれすれに彈丸のやうに突つ込んで行つた、雷擊機隊の向ふで十五インチ、十四インチの主砲、六インチ、五インチの副砲をはじめ裝備したあらゆる大砲の火蓋を一齊に切つて落したのだつた、第一齊射の彈幕は物凄い勢ひで海面を押し包んだかと思つたとたん第二、第三の齊射が忽ち四、五段の分厚い彈幕をつくつて蹴れ狂つた

隊長機、續く二機も自爆

○○隊の全機はまさに不死身の鳥のやうだ、第一、第二の彈幕の眞ツ只中を物凄いスピードで突拔けて砲彈の炸裂で赤黑く燃え立つてゐるかと思はれる、第三の彈幕の中に突込んだのだつた、突破した、先頭を切つた隊長機が颯爽に最後の彈幕に殺到した時だつた『あつ』と隊長機の遙か後から續く僚機の乘員は思はず叫んだ、瞬間、隊長機の巨大な胴體がパッと眞赤な火を吐いたと思ふと大きな火の塊りが彈幕を斜に切つて海上に突込んで行つた、一米位の火柱が突立つて直ぐ消えた、海上にはもう何もみえなかつた、全く一瞬の出來事であつた、隊長機の自爆である、一番艦への狙ひが崩れた後續機はそのまゝ直ぐ後方の三番艦を突つ切つた、振返ると直ぐ後に續いた二機が魚雷を發射後眞赤な火の玉となつて海中に突込んで行つた、○○隊が突擊した、火箭が行手の空間一帶に縱橫に交錯してゐる、海面はぶす〳〵と泡立ち黃色の硝煙が劇しく沸き立つてゐた

巨艦海中に突立つ

○○隊の全機はこの眞中に突き入つた、敵艦は早左右に轉針して避けた、一番艦に狙ひかけると艦は大きく退避し正面に向つて進んで來た、一番機は咄嗟に二番艦へ魚雷を發射した、直ぐ後に續いた一機は魚雷を發射すると同時にパッと火焔に包まれてしまつた、この時一番艦の左舷中央に凄い水柱が一本上るのが見え、ついで二番艦にも激しい水柱が二本上つた○○隊がさらに一番艦を攻擊しかかつた時、一番艦の巨艦はすでに沈みかけてゐた、舷側と同じ位の高さにある機の窓から一番艦の後部マストに飜つてゐる米國旗がちらつと見えた、一番艦の舷側に大きな水柱が三本立て續けに上つたかと思ふと三萬二千トンの戰艦カリフォルニヤ型の巨體が眞黑い天に冲する火焔の中に白と黑の迷彩を施した巨大な艦首がぐつと海上へ突き立つと同時に一瞬にして轟沈してしまつた、時に十二時四十一分、僅に數秒間の早さであつた、一隊は逃げ惑ふ三番艦甲巡キャンベラ型(九八五○トン)に魚雷を集中した、大きな水柱が上つたかと思ふと二番艦は大きく傾斜し見る〳〵うちに速力が落ちて行つた、攻擊は終つた、この間僅かに十三分すべては終つたのである、○○隊長機は戰場を斜に飛び越えながら振り返ると、三萬一千トンの戰艦ウオスパイトの舷側に大きな水柱が一本轟然と上るのが見えた、高角砲の射程から完全に遠ざかつた時、中隊長機の搭乘員達は夢中に突破して來たあの彈幕の物凄さを思ひ出すのだつた、主砲の炸裂の震動で幾度、空中分解するだらうと思つたことか、さうして强烈な空氣の震動が劇しく機體にぶつつかるたびに膜が潰れさうな激動を幾度か我慢したことか

掴んだぞ、六本の敵航跡

丁度この時爆擊隊は凄絶な戰ひの上空にその勇姿を見せてゐたのだつた、雷擊隊に續いて勇躍基地を出發した爆擊隊の全搭乘員は開戰劈頭、かの『○○海戰』で赫々の戰果を收めた古强者であつた皆確信に滿ちてゐた、コース上は美しく晴れ渡つてゐた、たゞところ〴〵に積亂雲の巨大な峰が烈日に照り映えてゐるのみだつた、快調の機內に敵艦の動靜は刻々報告された、指揮官は西北へ進んでゐる艦隊と○時間後には必ず遭遇するだらうと確信してゐた、十二時少し過ぎだつた『パニート島の南百○五海里』といふ電報が入つた、發見した時の時刻から計算すると、敵はまさしく爆擊隊のコース上にあるのだ〃占めた〃會心の笑を湛へこのまゝ直航だ、そして爆擊機の全編隊は勇躍スピードを增しはじめた、直線コース上に積亂雲は出て來た、雲の下を見るとスコールが降つてゐる、編隊が積亂雲の切目を縫ひつゝ進んでゐる時だつた、前方約二十海里位の洋上に白い線がちらりと見えた、指揮官は双眼鏡をとり上げた(航跡だ)しかもよく見ると六本の線、西北方に向つて延びてゐるではないか、紛れもなく敵艦隊である、僚機はと見ればいづれも逸早く發見したと見えこちらを向いて手を振つて見せてゐる、近づくと敵の縱列はもう相當に亂れてゐた、三列に並んだ敵艦は前後左右に陣を亂して退避しつゝあつた、時に十二時四十分、海面一杯に黃色硝煙が濛々と立ちこめ、そのなかを主砲らしい大きな閃光が走つてゐた

逃げる巡艦へ直擊彈！

指揮官機を先頭に全機が見事な編隊を組んで爆擊針路に入つた時だつた、狙ひを定めてゐた一番艦(この時すでにカリフォルニヤ型は轟沈し二番艦ウオスパイトが一番艦に代つてゐた)の左舷目掛けて魚雷擊跡の走るのが見えたかと思ふと中央部から大きな水煙が轟然とあがつた、攻擊が終つて歸途につきかけた雷擊隊の○○隊長機がウオスパイト型の舷側に太い水煙があがるのを見たのも丁度この時だつた『立派な雷爆擊協同攻擊が出來るぞ』爆擊隊の指揮官は勇躍して爆擊命令を下さうとしたとたん眞黑い敵彈がぐつとウオスパイトの上を蔽うた『しまつた』だがもう照準を整へる餘裕はない、僚機はすでに爆擊コースの眞上にゐるのだ、見るとその前方にわが爆彈を避けて全速で退避せんとした大型巡洋艦が目についた『これだ』咄嗟に指揮官は決心した、爆擊ハンドルはぐつと力をこめて引かれた、續いて全編隊機の全爆彈は一齊に空を切つた、一秒、二秒爆彈は吸ひ込まれるやうに巡洋艦目がけて落下して行つたと同時に艦橋左舷寄りにぱつと齊味を帶びた火焔があがつた、命中したのだ、續いて後部マスト近くに赤黑い火焔があがつた、見事な彈着であつた(直擊彈二發)電信兵は勝鬨つてキーを叩きはじめた、さらに至近彈がいくつも舷側に水柱を吹きあげてゐた、そして黑煙に包まれた巡洋艦の中央部にカタパルト一本つき出てゐるのが目についた、アメリカの精鋭なるポートランド型(九、五○○トン)甲巡であつた、快心の爆擊を終つた編隊はそのまゝ大きく上空を旋回した、すると急に機の周圍に猛烈な高角砲が炸裂しはじめた、いままで雷擊隊の攻擊に氣をとられてゐた敵が狼狽して射ち出したのだ、今度は巡洋艦が眞黑い煙に包まれて右に左にジグザクに走つたかと見るとすぐ速力を落してしまつた『萬歲』勝鬨がどつと機艙をゆすぶつて爆發した

凄絶！魚雷と共に自爆

この雷擊を空上で見てゐた第二隊の攻擊隊は目標をアメリカ航空母艦ヨークタウン型(一九、○○○トン)に向け物凄い勢ひで驀ひかかり、わが急降下雷擊機の前にヨークタウンはあつといふ間に火を發し飛行甲板は瞬く間に蜂の巣のやうな穴をあけられた、艦內至るところに爆發が起り火炎と黑煙に包まれながらヨークタウンは暫く海上にのたうち廻つてゐたが、一萬九千トンの巨艦は間もなく海中に沒し去つた、この時第三の攻擊隊は上空に殺到した、見ると海上にはめざす母艦が二隻とも火まみれになつてのたうち廻つてゐたのだ、攻擊隊はその傍らに戰艦らしい大型艦一隻が無傷で盛んに高角砲を射つてゐるのを素早く發見すると機を逸せず猛然と襲ひかゝつた、大型艦はわが攻擊を避けようとして猛烈なスピードで回避せんとした、だがその時すでに速く艦は夥しい油を吐きながら見る〳〵うちに傾斜して行つた、この時であつた、わが一機が敵艦下に移らうとした瞬間敵彈が機の機關部を貫きぱつと火を吐いた、『自爆だ……』と見るうちその一機は距離が遠いと見たのか手前にあつた巡洋艦めがけ火達磨になつて眞つ直ぐに突つ込んで行つた、同時に巡洋艦の後部に猛烈な爆發が起つた、あゝ……何んといふ壯絶な最期であらう身も機體も魚雷とともに微塵になつて吹つ飛んでしまつたのだ、だが見よ巡洋艦はその後部に火災を起し徐々にスピードを落して行くではないか、敵の容を越えた凄絶な戰ひの一と時であつた

狼狽した敵艦隊の足取

かくてしばらく反攻の空しい夢を抱いて出擊して來た敵機動部隊の足取を追究して見よう、敵機動部隊が珊瑚海の一角にまでその巨姿を現したのは五月四日のことであつた、彼等の艦隊はサラトガ、ヨークタウンの最優秀なアメリカ航空母艦と米英戰艦各一を中心に巡洋艦、驅逐艦の各戰隊を配し大型給油船まで引きつれた堂々たる機動部隊であつた、この日彼等はわが最前線基地たる○○に對して空襲し來つたかと思ふと直ちにその足跡を混沌たる珊瑚海上に晦し五日は終日洋上で彷徨してゐたものであるが六日水も漏らさぬわが索敵機に遂に發見されるに至つた、わが方に發見されたことを氣づくや敵は直ちに艦隊を解き空母二隻を中心とする一艦隊と戰艦二隻を中心とする一艦隊の二手に分れなほも足跡を晦しつゝ次第に西北方に向けて徘徊しつゞけてゐたのであつた、かくて七日戰艦二隻を主體とする一隊はわが精鋭なる雷擊隊の猛襲を受け一瞬にして潰え去つたのである、空母を主艦とする他の一隊の行動は依然として不明とされてゐた、しかして七日空海の壯烈な死鬪が展開されてゐる頃他の一隊はそこからほど遠からぬ洋上を游弋してゐたのである、一方わが有力なる部隊は同時刻頃この敵を追つて隱密な行動を續けてゐたのであつた、かくて八日早朝俄然わが部隊の猛擊は開始されたのである

サラトガ忽ち火達磨

八日朝六時ごろであつた、早朝から出動しつゝあつた索敵機からタグラ島の遙か東方洋上に『敵艦隊を發見』の報が飛んだ、わが母艦上に待機してゐた○○機の攻擊隊は一齊に出動、あるものは魚雷を抱き、あるものは爆彈を抱いて海上至るところに幕のやうに視界を阻んでゐるスコールを避けつゝ一路敵艦目指して飛んだ、索敵の目的を果して母艦の途にあつたわが偵察機はこれを迎へた、この時偵察機はすでに燃料の大半を使ひはたしてゐた、母艦に還るまでがやつとであつた、しかし早朝から索敵に苦心を重ねた偵察機としては若しや攻擊隊が敵艦隊を見失ひはしないかとの不安を感じた、敵艦隊擊滅の千載一遇の機會を失ひはしないかとの懸念もあつた、偵察機は百七十度機首を轉じて攻擊隊の先頭に立つた、かくて攻擊隊を無事敵艦隊の上空に誘導した、時に午前九時二十分、かくて燃料を使ひはたした偵察機は敵艦上に自爆をとげ還らざる一機となつた、一方わが攻擊隊の來襲を發見した敵艦隊は突如嵐のやうに防空砲火の火蓋を切つて落した、敵戰鬪機は一齊に彈幕をくぐつて母艦を飛び出したわが攻擊に身をもつて阻まうといふのである、だが百戰のわが攻擊隊の銳鋒を阻むなにものでもなかつた、攻擊隊の眼中には蠅のやうに纒まりつく戰鬪機もなければ火を噴く部厚い防空砲火の彈幕もなかつた、たゞ〳〵ひたすらに敵の防空網を突破して疾風のやうに物凄い突擊であつた、わが攻擊機が眞つ黑い塊りのやうになつて彈幕を突破したと見た瞬間、もうこの精悍な攻擊機は彈丸のやうに猛烈な急降下爆擊に移つてゐた、アメリカが誇る航空母艦サラトガ(三三、○○○トン)の巨艦は烈しい戰慄に襲はれた、爆彈と魚雷がサラトガの甲板といはず胴腹といはず雨のやうに殺到したのだ、瞬間サラトガの巨艦は天に冲する赤黑い火焔の中に包まれたと同時 [illegible]

"五月攻勢"敗れたり

數刻の後海上にはいろんな浮遊物が夥しい油と共に浮いてゐた、近くに南海特有のスコールが灰色の無數の雨足で海面を洗ひながら迫つて來た、かくて二日間に亘る海空の死鬪は終つたのである、この日の戰果は航空母艦サラトガ、ヨークタウン型驅逐艦各一甲巡二大破飛行機擊墜九十八機の他に一萬トン級大型給油船一の大破も含まれてゐたのである反攻を企圖した敵の五月攻勢は今やわが無敵航空部隊の攻擊にあまりにも貴重な代償を拂つて壞滅し去つた、銘記すべき珊瑚海戰である

訂正 六月四日附朝刊第二面、內閣辭令(中樞院參議奏任待遇)中『李敦植』は『李敬植』『金僖鎬』は『金禧率』『三山鶴平』は『三山鶴市』のそれ〳〵誤りに付訂正

漂流實に八十時間

珊瑚海の海戰　荒鷲不屈の生還記

【軍艦○○にて五日 村上海軍報道班員發】今次珊瑚海海戰に參加して索敵飛行中、敵戰鬪機編隊に遭遇、不幸大海の洋上に不時着したわが空の勇士が四日三晩の間漂流して奇蹟的にも生還した眞相談がある、以下○○大尉の漂流記

さる七日われ／＼は艦長の重任をうけて勇躍發艦した、天候が不順で視界が極度に狹かつた、あるひは高くあるひは低く斷雲を避けて敵に近づきもう一息といふところだつた、突如敵戰鬪機九機編隊の二隊に遭遇した、速かに避退せんとしたが敵機に追つかけられ猛烈な攻撃を浴びせかけられた、こちらも反撃したが足の速い戰鬪機に遭つてはどうにもならないと見る間にガソリンタンク、潤滑用タンク、無線電信機フロートをやられてしまつた、もうこの上は不時着するほかない、そこで敵の攻撃を避けながらぐつと高度を下げ遂に不時着を決行したが、敵はこちらが不時着のまゝ反撃に出たので何時の間にか逃亡を企てた、

着水後早速大切なもの丶處分にかかつた、そのうち機體は左に傾いて顚覆した、われ／＼はひつくり返りフロートの裏に乘つて救命袋を引出し機體が沈んでからの用意をした、われ／＼はこのまゝぢや死に切れぬのだ、なんとかして生還してこの仇討を果さねばならぬ、われ／＼はフロートの上で飛行圖を取り出し、しつくり基地へ辿りつくことを相談した、確かに○○浬西方に基地があるはずだ、いよ／＼救命筏に乘り移り漕ぎはじめたのは午前十時頃だつた、力を合せて三時間も漕いだ頃一つの無人島についた、無人島は周り一キロ位の小さなリーフ島で椰子が繁茂してゐた、ここでまづわれ／＼はびしよ濡れになつてゐる服を脱いで乾かした、次は糧食の確保だ、椰子の實をとつた、みんなで十一箇もあつた、お互ひに一箇づゝ椰子の汁を飲みコプラを齧つた、殘つたものと、そこらに落ちてゐるもの拾ひ集め後に積んで今後の食糧にした、また椰子の葉を切つてオールも用意した、再び出發したのは服も乾き潮が滿ちた頃だつた

大海に出ると風が殊のほか順調である風を利用するのは今だとばかり早速頭巻きで帆を拵へた、帆を立てたらどん／＼辷つて行く、だがそれは僅か五、六時間で十一時頃は風向きが變つて帆が駄目になつた、こんどはまたオールで漕ぎはじめた、その夜が明けたらスコールが來て酷い目に遭つたが風向きは變つて基地の方へ吹いてくれた、追風は晝過ぎまで續いてしばらくは極めて好調だつた、夕方になつてまた風が變り波も高く天氣が險惡くなつた、視界はほとんどとざされ方向も位置も見定めがつかない、何べんもスコールに遭ふので寒くてたまらなかつた、お互ひに勞り合つて寒さを凌いだ

『寝つちやいかん』と肩を叩く、本人が何時の間にか眠つてしまう、また夜が明けると風も凪ぎ波もいくらか穏やかになつたのでぼつ／＼漕ぎはじめた、しばらくするとまた島が見えた、島に上らうといふことで漕ぎつけたが脚がきかぬ、二日二晩ぶつ通しで漕いだので脚が立たなくなつたのだ、やうやくしがみついてリーフに上り冷え切つた着物を乾かすことにした、また漕ぎはじめた、空を見上げると味方機が飛んでゐるが見つけてくれさうもない、そのうちに敵の爆撃機がやつて來た、一時は漕ぐのを止めて空中戰を眺めて見たり聲援を送つたりして氣持はのんびりしたものだつた、三時頃から椰子の葉で拵へたオールを利用して頑張つて漕いだ、また味方飛行機が見える

いよ／＼基地に近づいたことを知つた、ところが日没後になるといくら漕いでもあべこべに流されるのである、四回目の夜が明けた大分波は靜かになつた、ふと見ると西方海上の水平線にマストが見えた、三人の顔色がさつと變つて勇氣が出た、確かに船だ『どうぞ味方の船であつてくれ』とマストを見張つてゐた、船は運よくわれ／＼の方に眞つ直ぐに近寄つて來る、艦橋が見え艦旗が見える、どうも日本の船らしい三人はますます元氣づいて『救助頼む』と手旗信號を送つた、船はいよ／＼近接した、あゝ○○艦だ、遂にわれ／＼三名は救ひ上げられたのだ、時に午後四時卅分、カツターが迎艦へ移された時は感無量で感謝の言葉さへ出なかつた、思へば不時着してより救助されるまで四日三晩、實に八十時間の漂流であつたが、その間の一貫した氣持は必ず助かるといふことで一度も絶望感を持たなかつたことである、運を天に任せて漕ぐのを斷念したことはあつたが死を考へたことはなかつた、それはどうしてももう一度生き還つて戰場に立ちたい一心でもあつた

特殊潜航艇に狙はれた兩港

濠洲の心臓

◇……世界三大港の一つシドニー　語る大阪商船林氏

勇豪無比、九人の軍神によつて世界にその威力を發揮したわが海軍特別攻撃隊の第二次攻撃目標は濠洲の首都シドニーであつたことが五日午後五時十分の大本營發表によつて國民の前に明らかにされた、例によつてわが海軍のみが持つ特殊潜航艇の威力は忽ち敵巨艦一隻を屠つて敵の心臓を寒からしめ再び殊勲の偉功を擧げたのであつた、然しあゝ三隻は未だ歸還せず、こゝにまた國民の感激は湧く……昭和四年から同八年まで大阪商船新造船ブリスベンの事務長としてシドニー港に寄ること數度、現在京城南大門通大阪商船支店に勤務する林鱗三郎氏(三〇)は當時を

回顧 して深い思出の中にそのシドニーを物語つた【寫眞は語る林氏】

白人濠洲の首都シドニーがわが特殊潜航艇の攻撃目標となつたことは當然過ぎる位だ、これさへ叩いて置けば濠洲の心臓をやつつけたやうなもので、これで白人主義の彼等の心にも大きな動搖の起ることは免れない、その理由は誠に簡單でつまり濠洲は本國の海軍力に恃み同時に米國の經濟力の強大さを何よりもの力としてゐたからだ、さうした依存によつて打樹てた白人主義の國民の目の前で日本海軍の攻撃隊が暴れたのであるから今さら彼等は米、英の弱さをはつきり認識したことだらう、私が最後に上陸した當時も相變らず白人主義の濠洲人が街を濶歩して流石海外移住性に強い支那華僑もこの地だけは手も足も出なかつた、日本人は商社關係の

人達 ばかりであつたからその人數も極めて尠かつたために濠洲人から迫害をうけるやうなことはなかつたが、税關檢査のやかましかつたのには驚いた、元來が原産國で日本はそのよいお得意様であつたからそのお客様と事を構へるなどとは始めから考へてはをらなかつたのだが、そこが米、英の力を誤信してゐた彼等はその大切なお得意に牙をむけてしまつたのだ、流罪人の子孫が繁殖した國だけに民心が粗野で重厚な思考力を持つてゐない、だがこの港だけは實に良港で自然の岩石によつて港は圍はれ有名なハーバート橋を中心として軍港と貿易港とが區劃されてゐる、海は青く深く特有の

岩盤 海底へぐつと切り込んでゐるので相當の巨船は陸とすれ／＼に進むことが出來る、わが特殊潜航艇もかうした好條件に惠まれて海底深く忍び寄つたものと想像されるが、物凄い爆音が堅い岩盤をゆるがしてその響きはシドニー全市民を驚倒させたことであらう、夏と冬とが日本とは反對なこの南方の孤兒濠洲が、あるひは米に、あるひは英にその寄るところを定めず遂にシドニーを急襲されて受けた心の痛手を今何によつて癒さうとしてゐるのであらうか、思へば白人濠洲の誇りもこれと共に地に陥ちて米英陣營に捧げた犠牲の餘りに大きかつたことに臍を噛むまでのことである

最後の印度防衛點

意外！この地にホテル經營の日本人

デエゴ・スワレズとは

世界戰史に不滅の燦光を放つたわが特殊潜航艇が去る五月卅一日再び擧げた偉勳の地、マダガスカル島北端デエゴ・スワレズとは……この要港こそわが無敵海軍に東亞の天地から驅逐された英が印度防衛最後の軍事據點として去る五月五日海軍大部隊を回航、佛軍守備隊の虚を衝き海戰の結果海賊的不法占領を行つた傷痕生々しい曰くつきの港で、マダガスカル島北端東側の周圍に深々とした山岳を背負ひ港内は水面が靜く豐かなこと水深の深いことでは世界に誇るリオデジャネイロ及びブレストに次ぐ要港で艦艇の碇泊には極めて安全、英艦隊もつてこいの根據地となつてゐたものでマダガスカル島第一の良港でもある

人口は一萬四千人程その大部分はインド人であるがこの南海の果に一人の日本人が成功してゐたときけば誰しも驚くであらう、それは赤崎傳三郎といつて長崎縣天草郡高濱村出身、同地のホテル業を一手に獨占、今次大戰勃發直前まで南進日本の氣を吐いてゐたものであつたが現在行方不明、ともあれマダガスカル島の重要據點爆撃によつて英の印度拋棄は時の問題となつた【寫眞＝日本人經營のホテル二階柱の右に立つのが赤崎氏】

斷じて貫け〝六月の誓〟

波田總長、全愛國班へ飛檄

隣組制の發展も新たに二千四百萬愛國班員は來る八日第七回大詔奉戴日を迎へる、國語生活の徹底、全家勤勞、節米の徹底、常會斷行などの實践要項が六月の誓であるが、着任後二回目の常會を迎へる波田總力聯盟總長は八日の放送を前に五日〝起てよ愛國班員〟と全鮮愛國班員に第七回大詔奉戴日の心構へを強調した

『五日發』總督府における南總督、大野總監就任を慣例とする愛國班員諸君のその熱誠さに、私は涙なくしてみられなかつた、銃後は須くその意氣、總督で官民が一體となり國家總力戰に邁進するのだ、そしてその氣持を常會、延いては私生活までに延長させて銃後をがつちりと結束すべきである、これからいよ／＼暑氣も加はりとかく緊張も緩んでだれ易い、これでは赤道直下に死鬪する皇軍勇士に對して面目が立つであらうか、近頃あのパン屋前の行列風景は一體何事か、當局は長期戰に備へて節米を斷行、對策に萬全を期してゐる、その關心をきつと解らないだらう、皇軍の苦勞を偲んで、これだけの窮苦には耐へるべきであらう、國民的實践とは上から啓示されたのではなくめいめいが聖戰完遂の心構へで、しかも自戒のつもりでなくてはならない、戰況も太平洋方面から印度洋にいよ／＼激烈を極めてゐるが、これに銃後は甘えることなくこの農繁期を克服すべきだ、來る八日の常會で私はこの點を強調し全鮮愛國班員の心のねぢを締めて貰ふ積りだ

止めようパン行列

犠牲を買ふための一列行列は〝敢鬪日本〟を要望して朗かなものだがこれは最近目立つやうなパン屋前の一列行列――これは飯米の配給制度が消費規正の強化によつて減配されたため、麵類代用食への需要が増加したことゝ、小麦粉の配給が以前よりこれも減配されたことによるが何れにせよパン屋前の行列は長期戰覺悟で第一線に敢鬪してゐる兵隊さんには相濟まぬ醜態極まる風景である殊に朝六時ごろから使ひをやつて買はせたり甚だしいのは行列をみて初めて買ふ氣を起すもの、かうした購入者が朝から殺到してひどい時には一町餘も長蛇の列をつくり交通妨害は愚か買占めの氣配さへみせてゐる實情にあるので京畿道經濟警察課では四日朝京城府内目抜のパン屋を急襲、不良買出人、規格違反の製造業者に對し一齊取締りを行つたが、その結果は豫想に違はず大量の違反者を發見、目下同課で嚴重取調べを續けてゐる

取調の結果によると買出人の中には何度も買ひ行列に加つて一人で十人分も買ひこみこれを纏めて轉賣するもの、差當り必要はないが買ふだけ買つておかう式のものが相當多數見うけられ、又業者側にあつては全體的にパンそのものの質が低下し、小麦粉の減配によつて毎日パンをつくらずに三日に一度乃至五日に一度位纏めて製造するものがありこれがため開店日には客が殺到するといふ狀態を無理につくつてゐる店も見受けられた なほ悪質なところでは少々の小麦粉では利が薄いとしてその殆どを原料のまゝボーズ屋に賣却すると いつた者も現はれた、なほ京城製パン業組合でも同業者から非時局的な者を清掃するため自發的に警察部に協力、暴利取締りに乘り出し業界の明朗を期してゐる

特殊潜航艇マ島を奇襲

小磯總督田中總監就任披露

【東京特電】小磯總督、田中總監就任披露のため五日正午丸の内東京會館に朝鮮關係者多數を招待午餐會を催した出席者は水野鍊太郎、有吉忠一、宇佐美勝夫、松岡二郎、山田三良、淺利三郎、穗積眞六郎氏等四十名でこれに宮本法務局長ほか上京中の本府各課長等が加つた、席上總督は就任の挨拶のに對し出席者を代表して水野鍊太郎子が南前總督の後繼者として小磯新總督に多大の期待を繼いでゐる旨の挨拶があり歡談裡に午後二時散會した

南方に活躍する給水班

【南支前線○○同盟】炎熱の强行軍中に小休止の命令が下ると兵隊さん達はみんな重い背嚢を下して休むのだが、この小休止毎に新しく活動を開始せねばならぬ一團の兵がある『防疫給水班』がそれだこの給水班があればこそ大陸戰線到るところ隨所に、東京の水道のそれよりももつと純粹な水が自由に飲める、この給水班こそ皇軍の力の泉である、無敵皇軍はこれによつていよ／＼精強に、その衛生狀態はいよ／＼完璧となるのだ、○○給水隊長の話を聞かう

給水の時間が切れさうになつても立つてゐる兵隊を見ればどうしてやらずにをられよう、しかしそれをやればその間に部落が出發してこうちが行軍に遅れさうになる、かうした狀態で小休止の後の行軍が續く、さらに給水は行軍或は駐軍の間のみではない、山頂の戰鬪部隊、或は洞向ふに布陣し戰つてゐる部隊にも補給しなければならぬ時もある、これを火線給水といつてゐる、器械を背負つて洞を泳ぎ渡り匍匐して陣地に迫り壕で水筒に配つて歩くこともある、われわれが濾過した後の水の細菌數は凡そ東京の水道の五分の一といつた上等なものだ、戰鬪部隊からの感謝、これが何より嬉しい、『血が通ふ』といふかわれわれの水こそ軍隊の血であり、心と心を結びつけるものだと思つてゐる

鹽の專賣制

戰費部ではさきに鹽の增産並に配給の円滑を期するため八月一日から鹽の專賣制を實施することになり五月廿日附で朝鮮鹽專賣令の制定を公布したが五日附官報を以て更に朝鮮鹽專賣令施行規則並に鹽賣捌規則を公布した、その要點は

一、朝鮮鹽專賣令でいふ鹽とは海水を濃縮した水で五割以上の鹽化曹達を含み攝氏十五度で『ボーメ』五度以上の比重をもつもの

二、自家用に供するため一年の製造數量百瓩までの鹽の加工または政府の委託を受けて再製又は加工する鹽は製造から除外される

三、醫藥用食鹽▲小包郵便による一回二瓩以内の見本用鹽▲旅客携帶品又は引越荷物の中にある十瓩以内の天日鹽、三瓩以内の再製又は加工鹽▲旅客列車の食堂に消費する鹽で一列車につき廿瓩以内のもの▲船舶の船用品で一船舶につき百廿瓩以内の鹽▲鹽藏物品の包藏鹽でその運搬又は貯藏に必要なものについては税關長の許可をうければ輸入又は輸出ができる

四、全羅南道務安郡黑山面▲同郡荏子面▲珍島郡鳥島面は朝鮮鹽專賣令の施行區域外と決定した

お相撲さんの體力檢査始る

【東京電話】お相撲さんも體力檢査を――夏場所も終つてほつと一息入れてゐる大日本相撲協會所屬のお相撲さん六百名の體力檢査が五日午前十時から協會の大廣間で行はれた、この檢査を受けるお相撲さんは滿十五歳から二十五歳までの體力法該當者で五日の第一日は出羽ノ海伊勢濱部屋ほか二百名の力士で新横綱照國を初め大ノ森、相模川の花形力士も入つてゐる、檢査はすべて軍隊式でお相撲さんのきびきびした動作に體重、身長、胸圍と思つたより早く進み正午ごろ第一日を終つた、なほ檢査は七日までつゞき八日に體力證檢定を行ふことになつてゐる

蒙古政府指導者一行入城

躍進日本の逞しい姿を視察し歸國の途にある蒙古政府各盟指導者一行十一名の視察團は佐竹宇三、宮川賞兩氏に引率され八日午後三時廿七分京城驛着列車で入城直ちに朝鮮神宮へ參拜、同四時四十分朝鮮ホテルへ投宿、九日午前八時卅分京畿道國民學校を參觀、同九時四十五分總督府を訪問、同十時五十分朝鮮軍司令部を訪れ高橋參謀長倉茂報道部長と會見、入城校を參觀、昌慶苑を見物し午後四時卅八分京城驛發列車で北行する

小國民の歌吹込み

【東京特電】本社募集小國民の歌の吹込は五日午後四時から麴町内幸町のコロンビヤ本社で行はれた作曲者佐々木すぐる氏をはじめ歌手藤山一郎氏、二葉あき子さん、コロンビヤ兒童合唱團の可愛いおかつぱさん達が出演特別編成のコロンビヤ吹奏樂團の伴奏で元氣一ぱいに吹込まれた

衢州周邊の敗敵　戰意全く喪失

【浙江省前線○○五日同盟】衢州西方に進出敵の後背に迫つた衢江北岸進撃部隊は、一部をもつて四日未明衢州西方四キロの高地一帶に據る敵第三十二第二十六師に對し攻撃を開始熾烈な山岳戰を演じ逐次これを壓迫しつゝあり、一方南岸部隊の急進撃により浙贛線を遮斷された衢州周邊の敵軍は全く背後より退路を斷かれた形となつて俄然大混亂に陥り、各山岳陣地に殘存する敗敵は戰意を全く喪失わが包圍圏内を右往左往してゐる

米英船三隻雷撃さる

【リスボン四日同盟】ワシントン來電によれば、アメリカ海軍省はアメリカ商船一隻、中型アメリカ商船一隻が數週間前カリブ海において雷撃され、さらに中型イギリス船一隻は大西洋において雷撃されたと四日發表した

澳門に廣東省政府辦事處

【廣東五日同盟】廣東省政府では澳門政廳との間の華僑問題その他の事務の處理に當るため今回澳門に省政府辦事處を設置することとなり、來週中には設立をみる豫定である

本社見學

五日　黃海道延白郡金山公立國民學校訓導松田幸昌外生徒六十四名、慶尚北道公立國民學校訓導井尾忠平外生徒六十名

第一萬二千四百三十一號

京城版

いま一度、温顔を……

景武臺に咲いた恩愛の絆

これが半島の一人々々にお訣れだ 五日午後一時半景武台總督官邸に いま一度のお訣れを告げに集つた 京城新設、崇仁両町愛國班千八百 名は安田町副總代に引率されて官 邸玄關前で萬歳三唱並に南前總督 の健康を祈つて引揚げたが折から 午前中の狭別式を終つて官邸に歸 つてゐた南前總督はいつもの温顔 で近藤前秘書官を従へて玄關先に 立ち訣れを告げて裏庭から立去る 千八百の人を最後まで見送つた代

表安田氏は南さんの前に立止ると 「閣下、七年に亘つて我々半島 人のためよくお盡し下さいまし て有難うございました、私達は 閣下がお教へ下さつた皇國臣民 の誓詞をいつまでも忘れずにを ります」 と涙ぐめば南さんも温顔にあの懐 しい笑みを湛へて 「ありがたう、お世話になりま した、皆さんも立派な皇國臣民 となることを祈つてゐます」 と情けを籠めた言葉を與へ、最後 に「さやうなら」と力強い語音で

結んだ、この長蛇のやうな惜別の 行列は數分で南前總督の前を通り 過ぎたが、振りかへりつゝ去る愛 國班を見送る南さんの眼深い目に

日婦元町二分會結成式

大日本婦人會京城支部元町二丁目分會では、この程役員も決定したので六日午後一時から元町國民學校講堂で盛大な結成式を擧げた

巨人、南さん

"きつくはないか"

官邸の巡査へ温い思ひ遣り 訣れを惜しむ木佐巡査

半島の巨人、南さんの官邸守護の大任を果してけふ最後のお訣れをする警護の巡査の中で木佐吉郎巡査は最古参

から想出は深いですよ、閣下にはまだ一度も直接お言葉を戴いたことはなかつたが、朝夕御通門の敬禮に對しては實に閣下は丁寧に答禮をして行かれました 一巡査にまでこんな工合ですから半島民衆にも親しまれたのでせう、思へば偉い方です、ある時は私共の身を御案じ下さつて 『巡査はきつくないか』と情深いお言葉を賜つたこともありましたが、その時私達は總督閣下といふよりは部隊長殿といふ感じがしました、この二年間微力ながら無事に警護の任を果したことは何よりと思ひます

私は一昨年の七月四日からこゝに勤務してゐるのです、巡査になつて初めてこゝに來たのです

いさを、永遠に偲ばむ

淑明高女生が和歌集を贈呈

【寫眞＝愛國班の官邸訪問】

は微かに涙さへしてゐた

過去七年間、南前總督の眞摯な統治方針を慈父の如き温情は學園乙女にもヒシ／＼と感じられ淑明高女では六百餘名の全生徒が慈父との惜別の情に堪へざる眞心を現はした和歌を作成、四日野村校長引率の下に四年の級長大山、大村、大松さんらが代表者として官邸に南さんを訪れ和歌集を贈呈したがそのうちの二、三の歌詞をあげれば次の通りである

おごそかに勅語讀ざれし君のお聲我等の胸にきざまれてあり 壇上の白髪もなつかし總督のありしべ日偲ば我は淋しき ところへに内鮮一體ゆるぎなきもとゐ定めし君は出で立つ 半島の慈父と慕はれ七年をつくせる功とはに偲ばむ

「猶太の陰謀と日本」

永登浦國民校で講演會

妖兇猶太を知れ―永登浦警外事係では東京翼賛會長本多喜堂氏を招聘して六日午後二時から永登浦國民學校講堂で『猶太の陰謀と日本』と題する講演會を催すが、聽講無料で多數來聽を歡迎してゐる

興隆日本を象徴

第二回『幼稚園聯合園遊會』

明水台中央保育學校主催、第二回府内幼稚園聯合園遊會は五日午前十時半から同校々庭で華々しく開會、千餘の"興亞つ子"は何れも今日の悦びに胸を躍らませて可憐な中にも凛々しい姿で先づ國民儀禮ののち豊川中保校長の優しい挨拶並に松山龍山署保安主任その他の祝辭を以て式を了へ、律動遊戲に入り流石は興隆日本を象徴する豪華プログラムに十四ケ幼稚園の可愛い園兒達は『おらが自慢の腕前を示さんとばかり燦々と輝く初夏の太陽の下に紅葉の手をすくすくと伸ばして舞ひ歌ふの熱演を展開、參觀の慈母、姉妹たちを狂喜させ盛況裡に午後三時半名殘り惜しくも閉會した【寫眞＝幼稚園兒の遊戲】

今ぞ我らの起つべき秋

志願兵後援會 本年度の行事決定

灼熱の希望に感激の朝夕を送り「朝鮮に徴兵令實施萬歳!」を心から叫び東亞建設の使命を双肩に擔つて猛烈の猛訓練に勵しむ朝鮮特別志願兵訓練所の存在は全半島民衆に偉大な心の糧をそゝいでゐる

昭和十九年度の徴兵制度實施を前に志願兵訓練所では海田所長以下二千名の半島健兒は『今ぞわれらの起つべき秋!』と歴史的な感激を、その猛訓練に織込んで皇民道の錬成に打込んでゐるが『友よ來れ……』と全半島青年層に呼掛ける健氣な姿に志願兵の育成を心から祈る『志願兵後援會』では一層の銃後後援に全精神を打込んで健全な發達を祈念するため五日午後五時から府廳總務部長室に志願兵後援會理事會を開催、昭和十七年度事業計畫を懇談協議したが出席の千田總務部長、田中内務課長、伊東致昊氏（後援會）朝野常任理事以下各理事、職員は終始熱意ある討議……本年度行事の主なもの……月中に出征兵士家族慰安……兵家族懇談會を催すほか……兵の夕』開催、映畫、……より志願兵の認識と……させる

七月には府內居住の志願兵を打つて一丸とした『……人修養會』を開き時局講……他の方法で銃後の生活を……また時局色豊な訓練所第十回入所……

八月、恒例の訓練所入所生の京城市內宿營と見學が行はれるが今年は特に一泊の上遠く龍山、永登浦方面へ武裝行進が希望されてゐる

九月、府內中等學校、專門學校及び愛國班員に徴兵制度を普及するため講演會を開く

十、十一月には役員會を開催、志願兵募集に關する實行方針を決定、十一月十日をもつて締切られる志願兵の募集に積極的に乘出す

その他來年三月までに數項目の行事が行はれることとなり後援會の……

聽け！權威の聲を

戰時經濟大講演會

日時……七日(日)午後七時

會場……京城府民館大講堂

講師及び演題

『大東亞經濟戰爭』 慶應大學教授 經濟學博士 加田哲二氏

『世界一の日本戰時經濟』 野田經濟研究所長 野田豐氏

入場無料 但し場內整理のため金十錢申受く

主催 京城日報社

體育

示せ若さと意氣

全鮮庭球大會・京畿豫選會

あす京城運動場で擧行

本社主催

聖戰下、日本の若さと意氣を中外に闡揚する本社主催、第十九回全鮮庭球大會に先立つ京畿豫選會は愈々七日午前十時から京城運動場で開かれるが、これが豫選會の技術委員會を五日午後五時から京城府民館に開催、勝れてはせ參じた卅六組の精鋭を網羅して左の如く競技組合せを決定した、前年度優勝選手の殖銀（前原、藤村（殖銀）組を先頭に全國一を誇る京城實業庭球人が總動員で參加、それに總督府土木出張所、京春鐵道など新鋭を加へて瑞々たる戰果に備へて愈よ銃後にあがる半島勤勞社會人の不敗の信念と燃える意氣をこゝに顯示、半島最高を行く本大會への榮譽は燦として輝いてゐる

◇第一球場

▲一回戰

殖銀（金英一・金岡）―永登（李金・村村）

遞信（閔武・本田）―商銀（黃鄭・士成・道運）

▲不戰二回戰

殖銀（藤原・運村）―本府（沼松・田山）

無盡（長福・田山）―本府（金岡・井村）

專賣（玉金・山村）―永登（木松・戶原）

鐵道（鈴金・木原）―遞信（高松・木原）

專賣（大三・島田）―永登（深延・川安）

殖銀（平岩・岩城）―遞信（大松・城岡）

府廳（金江・川川）―殖銀（落先・合田）

◇第二球場

▲一回戰

東拓（平大・木島）―永登（中富・山田）

▲不戰二回戰

殖銀（武野・永副）―遞信（徐朝・延本）

電氣（新金・井山）―永登（德神・山林）

永登（岩闕・本門）―殖銀（金石・田原）

鐵道（小清・田水）―殖銀（金□・川龜）

專賣（松香・永山）―無盡（平德・山田）

府廳（石山・村本）―東拓（新金・城山）

商銀（平河・山村）―土木（雲金・成山）

京春（松金・岡田）―本府（正淺・木野）

第二回大陸鐵道體育大會

愈よけふ開幕

大陸輸送陣に挺身する鮮、滿、華北の鐵道人が體育を通じて人の和を一貫、心身を鍛錬する第二回大……

東亞大會自轉車競技豫選會

高知事あす着任

けふかふら陳列替へ

新緑に映える"徳壽宮美術館"

新緑に映える德壽宮を彩る石造殿の近代日本美術品の總陳列替へは今日行はれるが去る一日から東京、京都方面から美術家快心の作品が續々入荷し同館係員は陳列準備に忙殺されてゐる

今次の陳列替へには東洋畫、西洋畫、彫刻、工藝を通じ總點數は百十餘點であつて、そのうちの主なるものは東洋畫では竹內栖鳳筆『紅葉』小林古徑筆『金山寺』横山大觀筆『紅葉』……西洋畫では南薰造筆『桐の花の村』中澤弘光筆『古南老梅』田邊至筆『曠原』彫刻では內藤伸作『スター』北村西望作『飛躍』朝倉文夫作……

愛の赤道 【115】

竹田敏彦作 都竹伸一繪

其夜の幻影（三）

「おや……？」

漸く闇に馴れた眼に、それが男女であるとわかると、二郎は迷はずにゐられなかつた。

何しろ立樹に挾まれた、一幅のない杜の細道だから、このまま通り抜けるにも、この男女をかさなければならないし、と言つて間近く我家を見ながら、今更引返して、廻り道も迷惑な話である。

彼も思ひ惑つて、ちよつと立ちつくしたが、その時である。

「だつて、それぢや、なんぼなんでも……」

女の聲が、悲しげに顫へた。

二郎は、その聲の、あまりに聞き覺えのあるのに、はつとして息を呑んだ。女の言葉は、尚も續けられて

「それくらゐなら、私いつそ……」

次の一語は、かすれて消えた。

「……このまゝ、死んで、しまひますわ……」

女の肩が切なくふるへて、すゝり泣きの聲に變つた。

瞬間、二郎は、心も凍るほど、意外な衝撃に、ぞつとして身を縮めた。それは女の……

ラヂオ

朝 ▲六・〇〇（東）朝の……

（ラジオ番組表）

夕刊

“東方日本と共に”
ビルマ元首相獅子吼

【ビルマ前線○○にて四日同盟】皇軍の手に救出された元ビルマ首相ドクター・バーモ氏は救出直後の五月二十一日マンダレーのエス・デー・ジー學校に開催された民衆大會において大要左の如き講演を行ひビルマ人に異常な感銘を與へた

今こそ諸君は余がかつて二年前このマンダレーにおいて諸君に呼びかけた時「われらの自由を守るために汗と涙と大なる努力と犠牲とが必要である」といつたことを想ひ出すであらう、自由は懇願によつて得られるものでは斷じてないわれ〳〵の汗と涙によつてはじめて得られるものである、余ははつきりと「將來において必ずビルマの自由を獲得して見せる」といつた、今になつて思へば甚だ笑止の次第であるが、一部の人は「われわれには武器がない、武器がないのにどうするのだ」といふものもあつた、諸君は余がその時斷乎として「東方に友あり、彼必ず携へ來らん」と確言したことを忘れはしないだらう、しかしてあの場合それが日本であることを明確にいふことは不可能であつたのだ、何故ならばその時われ〳〵はなんらの武力をももたなかつたからである今やわれ〳〵にはあらゆる新しき武器すなはち飛行機も戰車も大砲も軍艦も必要以上にもつことになつた、それは日本が援助に來てくれたからである、余は約二ケ年に近い牢獄生活を打破つて出て來た時殘忍極りなき英國官憲は余に銃殺の命を降しかつビルマ人官憲をして余を追跡逮捕せしめんとしたが長年、余は自分自身の脚で一哩も歩くことはなかつたが、祖國ビルマの自由を熱願する余の熱情は遂に難路○哩をこの脚で突破、英政府の勢力外に逃れてビルマのロビンフッドとなつたのである、余は血と涙とによつてのみビルマの自由は獲得せられるのだと諸君に告げたが、今正にその時が來たのだ英國の勢力を完全にわれらのビルマから追放させたのだ、この街の現狀を見ては思はず熱涙の落つるを禁じ得なかつたしかしこのマンダレー再建に對してはおそらくこれ以上の血と汗と努力の奉仕を必要とすることを覺悟せねばならぬ

我挾撃の強壓、重慶覺悟せよ
長期抗戰態勢の破摧近し
全戰線有利に進展
支那派遣軍報道部長談

【南京四日同盟】ビルマ敗戰の結果孤立無援に陷つた重慶軍を擊滅すべく開始された今次作戰は全戰線とも極めて有利に進展しつゝあり、特に第三戰區潰滅の運命は刻々と迫り重慶抗戰態勢の根幹に一大打擊を與へてゐるが、右に關し岩崎支那派遣軍報道部長は四日左の談話を發表した

支那派遣軍報道部長談　皇軍のビルマ戡定によつて文字通り孤立無援となつた重慶が現在日本軍の構成してゐる雄大なる戰略態勢に遭つて挾擊の強壓をうくべきことは當然覺悟せねばならぬところである、しかして事態の重大性に愕然とした重慶はわが軍の全面攻勢發動を恐れ戰々兢々としてこれが對策に狂奔し、あるひは雲南の防衞に多數の兵力を割きあるひは豫測される西安、洛陽、浙東、江西方面よりするわが進擊に備へて軍備を急ぐとともに軍民に對しては多大の決意を要すべきを警告し來つたのである、然るに五月中旬蹶然第三戰區に對しわが大部隊の進攻作戰が開始せらるゝや軍事、政治、經濟の一大據點金華は忽ち攻略せられ、以後わが鋒鋩は東部支那大陸における敵軍の心臟部深く迫りつゝあるのみならず廣東方面には南支軍の蹶起北上するありさらに南昌方面よりするわが新鋭大部隊の疾風怒濤の如き進擊により敵の第三、第九兩戰區はその接觸部において東西に截斷せられんとするの態勢に陷込んだのである、かくしては法なく第三戰區潰滅の運命は刻々として迫りつゝある、この重大戰局に殆ど對處の方法なく敵の最高統帥部も彈力性を失つた現在の重慶軍事當局最近の意圖が主として自力抗戰態勢の確立による戰略的持久策にあるを思ふ時、わが軍今次の作戰目的が區々たる一城一塞の奪取にあらずしてあくまで敵長期抗戰態勢の依つて以て立つべき戰力の根幹を破摧するにあることは申すまでもない、しかして現在までの戰況によつて明瞭に指摘し得るものは敵軍統帥部必死の努力と猛烈な爆擊にかかはらず、敵軍戰力は、未だかつて見ざる弱勢を暴露し戰意低下は士氣の錯亂と相俟つてわが作戰は極めて有利快速に進展しつゝあるところである、この敵軍戰力低下の實相とわが擊碎力の必死的增大とは今後必ずや敵軍の抗戰態勢に一大變動を齎さなければやまないであらう、大東亞戰爭の現段階における今次作戰の新しい意義をこゝに見出すのである【寫眞＝岩崎報道部長】

撫州を完全に攻略す
城頭に感激の日章旗
江西作戰

江西戰線○○特電【五日發】第三、第九兩戰區を結ぶ敵最大の據點撫州攻略に只管の猛進擊を續行中の我精鋭部隊は、遂に五日拂曉三時十分同縣城東南岸より雪崩の如く城内に突入し、殘敵を市内各所に壓縮して激烈な掃蕩戰を續行、城壁高く感激の日章旗を飜へした

要津、紅磯街に奇襲上陸
鄱陽湖岸制壓

【江西前線○○四日同盟】漲水溢れる鄱陽湖上を舟艇を驅つて縱橫に活躍するわが陸海協力部隊は去る二日都昌（九江東南四十キロ）を占領後湖上を巧に舟艇機動して湖岸一帶の敵陣を制壓しつゝあるが、四日午前五時十五分その一部は鄱陽湖北岸の敵據點要津、紅磯街（都昌東方廿五キロ）に奇襲上陸を敢行、敵第二十五師の主力を捕捉擊滅しつゝ引つゞき東方の湖岸一帶の敵陣を制壓中

水路啓開に活躍
海軍部隊緊密に協力

【江西前線○○にて四日同盟】江西の湖沼地帶に展開された今次作戰に協力する海空兩部隊の活躍に關し、中支軍當局は四日左の如き談話を發表した

△中支軍當局談　（四日午後七時發表）今次武漢方面の軍作戰に當り同方面のわが海軍は秘かに鄱陽湖その他の湖上作戰、水路の啓開などに關し着々準備する所ありしが、突如その感なし鄱陽湖北岸都昌の敵前部隊の進擊に先行する水路によりその敵前渡河を容易ならしめまた進擊途上に橫たはる路に挺身して敵を驅逐するとゝもに渡河作業および補給を援助するなど極めて緊密なる協力をなしつゝまた陸軍飛行隊は連日惡天候を冒し早曉より夜に至るまで不斷の活動をつゞけ、偵察は勿論敵を求めて巨彈を浴びせ多大の戰果を收めつゝあり、殊に今次作戰は陸海空の緊密なる協力作戰にして特に湖沼大河多き作戰地においてよく陸軍部隊が縱橫に驅馳進擊し得るは海軍の協力に俟つところ大なり

皇軍苦心の渡河に協力する原住民（プロレス局にて陸軍省報道部檢閲濟）電送

東鄕指呼の間

【江西前線四日同盟】進賢攻略後敗敵を追つて一路東鄕（進賢東南方三十五キロ）に向け猛進中のわが部隊は四日夕刻早くもその中間地點に達し敵第百軍司令部の根據地たる東鄕の陷落も時間の問題となつた

衢州縣城十重廿重
敵、混亂の極に達す
浙東作戰

【衢州郊外四日同盟】衢州縣城は四日夕來をもつてわが軍の殲滅的攻擊の的となり十重、二十重の包圍陣型に今や全く袋の鼠と化すに至つた、即ち三日夕刻より四日早曉にかけて折からの大雷雨を冒して衢州縣城の東南方六キロの地點を流れる烏溪江（衢江上流）の濁流を强行渡河西岸の敵トーチカ陣地に躍り込んだわが○○部隊は疾風の如くこの堅陣を突破して猛進、四日午後三時三十分には朱家（衢州南方四キロ）を、また衢江上流を渡河した部隊は同日午後六時錢山（衢州西南七キロ）の線に進出、完全に包圍陣を完成、さらにまた衢州城南側を南下する浙贛線の敵退路は○○……よりすでに切斷されてをり、猛烈なるわが軍の進擊に衢州城内外の敵は狼狽その極に達

張國務總理
特派大使として赴華

【新京五日同盟】張國務總理は五日午前十一時帝宮に參進、皇帝陛下に謁見を賜はりさきに中華民國汪主席來滿せられしによりこれが答禮のため特派大使として中華民國を訪問すべき旨の御沙汰を拜した、よつて政府は五日附をもつて左の如く正式發令を行つた

國務總理大臣　張景惠
茲に特派大使として赴華仰付けらる

政府發表（六月一日）さきに中華民國汪主席わが國を正式訪問せられ、わが國と中華民國との國交は一層敦厚を加へたるが、これが答禮のため本日國務總理大臣張景惠特派大使に任ぜられ中華民國を訪問することとなりたり、同特派大使は近く隨員を從へ新京を出發、南京に赴く豫定なり

全く潰滅消散
ビルマ派遣の重慶軍

【南京五日同盟】確報によればビルマにおいて慘敗を喫したビルマ派遣將軍總指揮官羅卓英はわが軍の猛進擊に逃げ場を失ひエナンジョンより麾下新編第三十八師の敗殘兵とともに印度に逃げ込み東部山中を彷徨中といはれ、また杜聿明の第五軍殘軍もミイトキーナ北方山中を彷徨雲南に脫出を企圖してをり、關麟徵の第六軍の少數は泰軍のケンタン占領前日の五月二十五日命から〴〵雲南に敗走したことが判明しビルマ派遣の重慶軍はここに全く潰滅消散し去つた

墨火藥工場に怪火

【ブエノスアイレス四日同盟】メキシコ市來電＝メキシコの對樞軸國戰爭狀態宣言の翌日たる三日同市西郊の國營火藥工場は原因不明の火災により灰燼に歸した

海運統制令大改正けふ公布
合併等に命令權
總二十噸以上に適用

大東亞戰の性格に基く海運情勢の重大化に伴つてこれが統制段階は擴大に及びつゝあるが、これを基礎づける統制令の根幹の一つ、海運統制令は全面的に大改正をみ、内地は五月十五日施行、半島は六月六日附施行されることゝなり五日施行規則の公布をみた、これが眼目を成すものは半島にも六月十六日施行をみる企業整備令に關する内容を海運事業についてはこれを全面的に包括せしめ既定統制令と併せて一本建としたものが改正海運統制令となつた、主要な點は第二條において海運關係事業の意義を明確に規定するとゝもに範圍をサルベージ、船具材料販賣事業にまで擴大せしめられたこと、第五條、六條における規定で出資命令、使用消費、保有に關する命令權、十五條においての事業委託、受託、共同經營、合併等の廣汎な命令權附與の規定である、而も最も重大視されるものは右の如き廣範圍な強權性の適用限度は内地が總トン百トン以上の汽船および百五十トン以上の機帆船に止つてゐるが、半島はさらにこれを總トン數二十トン以上ときめて擴大した點におかれてゐることである、かくて半島海運がこの統制力下に含まる範圍は全船舶をもつてしたことで今後これによる統制の強大を法的に示現したものである、五日遞信局は右に關し次の如く局長談の形式をもつて要旨を發表、海運業者の協力を要請した

新貝遞信局長談

政府は曩に戰時海運管理令と併行して海運統制令の改正を企圖し議會を通過したるもその後情勢の進展に伴ひ更に全面的改正を急ぎつつありたる所去る五月四日の閣議にて決定をみ國家總動員法に基づき勅令第五百四號を以て五月十五日公布せられ内地においては同日施行、朝鮮に在りては六月六日よりこれが施行を見ることとなつた、本令に於て著しい點は海運關係事業の意義を明確にしその範圍を擴大せられたることと此等の事業に關する試驗研究に關する業務に就ての協力命令、此等の事業に關する設備又は權利の讓渡、出資又は貸渡に關する命令及び此等の事業の委託、共同經營、讓渡若くは休止又は此等の事業を營む會社の合併に關する命令を規定せられたることである、改正大要左の通りである

時の錄音

米英艦隊蠢動の……本の太平洋制……

これでルーズベルト……

我らの慈父を送る

盡きせぬ名殘と感謝
南、大野正副總裁　愛國班の惜別會

半島の慈父南さんが去る…七年間二千四百萬を溫情にしつかりつゝんで日夜內鮮一體の大理想顯現の先頭に立ちつゞけた南さんが去る―全鮮愛國班員が盡きぬ名殘を惜しむ聯盟主催の最後の惜別會が、思ひ出多い總督府東側廣場で五日盛大に催された

この朝府內愛國班員は光化門通から、安國町通から、水の流れる如く總督府正門より流れこみ、午前十時、會場に詰めかけた班員無慮五萬、われらが總裁、副總裁に無限の感謝をこめた心からのお別れをせんものと待ちわびる、定刻國民服姿の南さん、大野さんが會場に姿を現はした、朝に頭を垂れて迎へる五萬の胸の想ひは一つ切々として迫る別離の情をじつと噛みしめてゐるのだ

烏川聯盟總務部長の開會の辭、國民儀禮につゞいて渡田事務總長が壇上に立つ

〝去る日われ〳〵は南、大野兩閣下御退任の報に接しましたとき、その餘り突然なのに驚き我々の耳を疑つたのであります〟

〝然しその事實なるを知るに及んで全く親を失つたと同樣の感に打たれたのであります〟

婦人の啜り泣きの聲が、會場のそこゝに起つた、班旗を持つた和服姿の若奧さんが袂を顏におしあてた、ツルマキを着た老翁がハンケチで目を拭つた、國民服の靑年が拳を目におし當てた

渡田總長の惜別の辭はそのまゝ二千四百萬の心からの叫びでもあつた

じつと惜別の辭に聞き入る南さん大野さんの目にも慈愛の子に別れる親の情にうるんだ、つゞいて萬感をこめた拍手の中に松原總務一氏伊東致昊氏から感謝文を贈呈し終れば、再び擧る拍手に迎へられ、無限の慈愛を童顏に偲ばせ南さんは最後の別れの言葉を述べに壇上に立つ、一瞬靜まりかへる會場、微風にそよぐ葉ずれの音が五萬班員の胸に靜かな感傷をつたへる

〝本日こゝに總力聯盟の主催によつてかくも盛大なる惜別の會を催され、こゝに私が最後の挨拶を述べる機會を得ましたことは眞に光榮至極に存ずる次第であります〟

懷しい聲だ、班員は食ひ入るやうに南さんを見つめ、じつと最後の言葉に聞き入る

〝唯今渡田事務局總長から懇篤なる惜別の辭を、更に又松原閣下より感謝文を贈呈され身に餘る光榮と厚くお禮申し上げます

在鮮七年間の永きに亘り非常に心持よく愉快に終始出來ましたとは官民の熱烈なる御協力御支援によるものと深く感謝の意を表すると共に、各位の御厚意は永久に心に止めて生涯忘れることは出來ません

國民としてより一層修練を積まれんことを切望してやみません〟

別れるその時まで皇國臣民錬成を祈る前總裁の大いなる愛は惜別の涙にぬれる全愛國班員を強く打つて建設を固く誓ふのであつた

つゞいて南さんのよき女房役として、半島二千四百萬の母として身心を捧げつくした大野さんが壇上に立ち

〝今回退鮮するに際しまして、かくも盛大な惜別の會をお催し下さつたことに對し、厚く御禮を申し上げる次第であります、私が副總裁に就任いたしまして、總裁の御指導の下に總力運動に力をつくしたのでありますが、非力のため何ごとも成し得なかつたことを深くお詫申し上げると同時に總動以來總力運動があらゆる艱難を經て今日の大をなし得ましたことは、ひとつに皆さまの強い御協力の賜と衷心より感謝を捧げる次第であります、お別れにのぞみまして、半島民衆各位は、ますく皇國臣民としての錬成に精進せられことを切望してやみません〟終つて韓相龍氏の先唱で全愛國班員の決意をこめて〝皇國臣民の誓詞〟を齊誦、李家彰鎬氏の發聲で萬歲を三唱すれば、熱誠をこめた萬歲の聲はいつまでも半島の空に轟きわたり、十一時半最後の惜別の會は幕を閉ぢた

なほこの惜別會の實況はＤＫのマイクを通じ全鮮に放送された

眞心の萬歲で南、大野正副總裁を送る二萬の愛國班員

府民沿道に堵列
南前總督と最後のお別れ

六日午前十一時二十分京城驛發で懐かしの半島を去る南前總督はこの日つきぬ名殘を惜む在城官民に應へんがため一時間早目の午前十時齋武台官邸を特に無蓋自動車で出發、總督府職員を始め官公吏、會社員、學校生徒、一般民衆の堵列見送りを受けながら總督府前から光化門通を通過南大門に拔け京城驛に向ふことになつてゐる

なほ前總督南大將は釜山までの沿線各驛で愛國班員、國民學校兒童の見送りを受けるが各驛停車時刻は次の通りである

▲京城驛午前十一時廿分▲龍山同十一時廿五分▲永登浦驛同十一時卅四分▲水原驛午後零時六分▲天安驛同零時五十六分▲鳥致院驛同一時廿九分▲大田驛同二時七分▲金泉驛同四時一分▲大邱驛同五時十八分▲三浪津驛同七時五分▲釜山棧橋同八時

兵の家で第一夜
朝鮮農報隊奈良班

【奈良電話】朝鮮農業報國靑年隊奈良隊六十五名は四日午前十時四十七分奈良驛着古都に感激の第一歩を印し直ちに縣廳を訪れ渡邊經濟部長の訓示を受け晝食のゝち黃海道班二十名は添上郡治道村へ、平安北道班二十名は山邊郡二階堂村へ、平安南道班二十五名は生駒郡北倭村へそれ〴〵就農村手傳ひと內地農業の體得に向つた

肉類が出廻ります
但し少々お高くなる

鷄卵の如く値段さへ上げれば出廻りは良くならうといふ筆法ではあるまいが開店休業のまゝ肉類が店先から姿を消して二ケ月、食堂、料理屋に行けば何とか食べられる肉も一般家庭に尋常一樣の手段では入らない、この矛盾を一掃して肉類の配給を円滑にせうといふので總督府畜產課では五日附で牛肉豚肉、鷄肉の最高販賣價格を全面的に改正、即日實施をみることになつた

肉類が都市に出て來ない原因は牛肉の場合は生牛の需給增加に伴つて役牛と肉牛との間に相當格差が生じ、肉牛の値段では生產者が牛を出さなくなつた、このため一般精肉業者も高い役牛を買ふと採算が合はぬといふのが牛肉出廻り不振の主原因、次いで豚肉は飼料など生產費の增嵩などが原因してゐるものとみられるが

今回の改正ではこの點を是正する意味から肉牛價格の格差と肉牛の規格を撤廢、豚肉の價格は十貫當り二円値上げ、豚、鷄肉の規格は一本建とし、特に京城府內における牛肉價格を設定し牛肉では小賣値段が百匁一割七分廿錢程度値上げ、豚肉が七分程度値上げ、鷄肉が八分十錢値上げとなつた

▲牛肉（一）肉牛（丸掛百貫當）京城府三百十五円、その他の甲地三百五円、乙地二百九十円、（二）正肉（百匁當、筋拔せるもの）一等京城府一円十五錢、乙地一円五錢▲二等京城一円、その他の甲地九十五錢、乙地九十錢▲三等（屑肉）京城府五十錢、その他の甲地四十五錢、乙地四十錢

▲豚肉（百匁當）甲地七十錢、乙地六十錢

▲鷄肉（百匁當）甲地一円三十錢乙地一円

なほ甲地とは京城、仁川、大邱釜山、平壤、新義州、咸興、各府興南邑、清津府をいひ、乙地とはその他の地をいふ

米、パナマ運河の警戒强化

【ブエノスアイレス四日同盟】パルボア（パナマ運河地帶）來電によれば同地の米陸軍當局は三日夜以來運河地帶の警戒强化のため同地區駐屯の陸海將兵の休暇を取消した旨四日發表した

南前總督朝鮮神宮參拜

南前總督、大野前政務總監は五日午前九時それ〴〵夫人を同伴李王職に伺候、離鮮挨拶を言上したのち京城神社並に朝鮮神宮に正式參拜をなし同十時卅分より總督府東廣場において擧行された三聯盟主催の惜別大會に臨んだ【寫眞＝朝鮮神宮參拜の南前總督】

感謝惜別の辭

茲に南閣下並に大野閣下に對する感謝惜別會を開くに當り、主催者として衷心より御禮並に御別れの言葉を申上げます

去る日、我々は南、大野兩閣下御退任の報に接しますとき、その餘りに突然なのに驚き我々の耳を疑つたのであります、然しその事實なるを知るに及んで、全く親を失つた時と同樣の感に打たれたのであります、そして兩閣下の殘されました御功績の偉大さを今更の如くしみ〴〵と感じ、御在任中、終始半島の爲に寄せられました御慈愛の程を回想致しまして、我等は眞に感慨無量であります

想へば兩閣下には支那事變勃發の直前、半島御來任になりまして今日の大東亞戰爭の眞つ只中に至るまで、足掛け七年の永きに亘つて朝鮮統治の御重責をはたされ、その間一視同仁の大御心を體して至誠一貫、內鮮一體を最高理念とする皇民化政策を經とし、大陸前進の兵站基地確立を緯とする各般の施設に縱橫の御手腕を揮はれ、我が半島をして克く今日の重きを成さしむるに至りました、その御經綸は洵に遠大にして雄渾、全く前人未踏の境地を開拓せられたるものでありまして、その御足跡の偉大なる到底筆舌の盡し得る所ではありません

斯くて兩閣下の講ぜられました諸施設は、今や何れも劃期的成果を舉げ、內外驚異の的となつて居るのでありますが、就中教學の振興、生產の擴充、治安の確保、並に創氏制度の實施、徵兵制度の基礎確立等は、永久に二千四百萬半島民の感銘として、記憶に殘るべきものであり、また今後朝鮮の躍進發展の基礎となつて、益々その光輝を增すものであることを信じて疑ひません

我等は今兩閣下の離鮮せらるゝに當りまして、何の言葉を以て送るべきかを知りません、たゞ〳〵感謝あるのみであります

我が帝國は前古未曾有の重大時局下におきまして國家は今後も引續き兩閣下の御力に俟つべきもの極めて大なるものありと確信致します

何卒兩閣下におかせられましては、國家の柱石として一層御自愛御加餐あらせられんことを切望してやみません

茲に二千四百萬官民を代表し、衷心感謝の誠意を披瀝しまして惜別の辭と致します

昭和十七年六月五日

國民總力朝鮮聯盟事務局總長　渡田重一

感謝文

陸軍大將　南　次郎　閣下

閣下夙に朝鮮總督の印綬を帶び半島に來任せられて茲に七年、始政以來最も多事多端の間に處して諸般の施策縱橫縱々たる功績を舉げられ統治の實任を完了して今や半島の地を去られんとす

惟ふに閣下の如く半島を熱愛せられたるはなく、蒼生二千四百萬を見ること恰も子の如く、庶政萬般一として半島撫育の至情に出でざるはなし、上下官民閣下を仰いで以て慈父となすもの亦宜なりと謂ふべし、而して其の自ら心血を注がれたる諸般の施設は既に累々として結實し、就中教學の刷新、生產の擴充、志願兵制度並に創氏制度の實施、徵兵制度の實施期決定等の重要政策は悉く閣下の手によつて實現せられ、斯くして民は內鮮一體の理念に透徹して皇民たるの實を舉げ、地は大陸に對する前進兵站基地として高度國防國家の一環を確立し、時局對處の重大使命を完了しつゝあり、我等の感激、我等の感謝、何ぞ克く筆舌の盡す所ならんや

然るに閣下今や朝鮮總督並に國民總力朝鮮聯盟總裁の任を辭して正に離鮮せられんとす、我等切々として衷心別離の情に堪へざるものあり、即ち茲に小會を催して閣下に訣別し、併せて閣下の恩愛に感謝の微衷を披瀝せんと、集ふところの者、その數必ずしも多からずと雖も、その志は是れ悉く全鮮二千四百萬官民の衷情を代表せるもの、希くは閣下これを諒とせられ、折に觸れては思ひを半島の空に馳せらるると共に、永く國家の柱石として益々自愛加餐せられんことを

聊か蕪辭を呈して感謝の辭とす

昭和十七年六月五日

國民總力朝鮮聯盟

大野緑一郎　閣下

今や半島がその面目を一新し、將また大陸前進の兵站基地として、將た東亞共榮圈の推進力として克くその重きを成すに至れる所以のものは、實に總督政治の運營時宜に適ひ、時勢の機微を制したるに由らずんばあらず、而してこれが根柢と爲れる諸般の施設殺擧に遑あらずと雖も、要は悉く是れ國體明徵、鮮滿一如、教學振作、農工併進、庶政刷新の五大政綱を基調とする淸新高邁なる理想の下に施政せられたるものにして、その間終始國民總力運動との表裏一體化せる、閣下の功績は、我等衷心感激銘記して永く忘るゝ能はざる所なり、閣下今この地を去らると雖も、その業績は永く半島の向上發展を扶翼して益々隆昌たる光彩を放つべく、我等また必ず克く努めて以て閣下の志を空しうせざらんことを期す

茲に別離に當り、閣下の功績に對して衷心感謝の誠を表明し、併せて愈々自重自愛國家に柱石たるの重責を盡されんことを祈念して止まず

昭和十七年六月五日

國民總力朝鮮聯盟

勳績有通天
南前總督の離鮮に愛惜の詩

府內黃金町京城藥師會副會長宇野宗一氏は南前總督の歸東に次の一詩を四日本社に寄せて來た

（京城　宇野　宗一）

綏撫皇民統治師　至誠勳績有通天
野水敵盧蒼樞府　憧城山河頌期傳

故近藤特派員弔問者

五日本社及近藤家弔問者芳名（順不同、敬稱略）▲日本報道寫眞協會理事兼關西支部長小石淸▲京城中央電話局加入課神田明治▲總督府商工第一課長井坂圭一良

前田東水氏令息　鐵道局技師前田東水氏長男東秀君（龍中在學）は四日午前十時赤十字病院で死亡、享年十八、葬儀は六日午後一時から漢江通一ノ二二七の自宅で神式で執行

香港に薫る皇軍溫情の花
薄給さいて情のミルク
伍長の慈悲に泣く敵米人

【香港四日同盟】鬼神をも慴伏せしめる皇軍將士の勇猛の裏には常に溢れんばかりの慈悲心が脈搏つてゐるのだが、今またかつて當地で一伍長の抑留米人たちに示した溫かい慈愛の物語が明かにされ感激を呼んでゐる

話題の人 は香港攻略戰當時攻城砲の參謀部附だつた上原保一伍長（原籍大阪市）である、當時香港、九龍方面にあつた米人は九龍ホテルに收容されてゐたが、上原伍長は香港攻略後命ぜられて彼らの監督に當ることになつた、何分にもやうやく戰火の收まつたばかりのことゝて飲食物や嗜好品などは極めて少く、皇軍の手厚い保護のうちにも彼ら米人は一種の不自由さを免れなかつた、上原伍長はこれを見て薄い給與を割いてミルクや肉を彼らに與へあるひは自分の煙草を節約して彼らのうちの老者や幼者をやさしく慰めてゐたのである

同伍長の の思ひやりに米人たちは泣いて喜んだのだつたがやがて彼らはそれぐ\新たに外人收容所に移ることになり上原伍長も〇〇に歸つてこの美談はうすれ行く戰爭の記憶とゝもにやうやく忘れられんとしてゐた、しかるに五月三十日新聞記者團が外人收容所を訪問し近く本國歸還のため出發すべき米人記者と會談した際、米人らが繰返へし上原伍長の名を呼び感謝の言葉を述べるのでこゝにはじめて眞相が明かにされるに至つたのである、しかも彼らのうちユーピー通信社マニラ支局長リチャード・ウイルソンおよび女ニュースカメラマンのグエンデユウの二人は連名で參謀部の〇〇中佐あてに手紙を差し出し

上原伍長 の善行に感謝を表し「日本兵士の眞の姿こゝにあり」と賞讚したのであつた

衢州南正面總攻擊
雨中に悠々と眠る
敵前・既に衢州を呑む

【浙江省〇〇前線四日同盟】途に衢州總攻擊の命は降つた、わが衢江南岸進擊部隊は三日午前衢州南正面の敵山岳陣地目指して壯絶なる殲滅戰の火蓋を切つたのである

記者はその 前日二日夕刻わが最前線陣地へ赴いた、本部と最前線との間は小さな丘一つだ、この附近の丘は樹木が全然なく赤肌の禿山ばかりである、山も田も綠にあふれる衢江平野を越えて來た目には殺風景過ぎて何か寂しい、見渡す限り荒涼たる新戰場だ、夕闇は無氣味な靜けさをたゝへてゐる、最前線の稜線がかすかに曇天の下に浮き出てゐる、よく見ると稜線の下方が動いてゐる、尾が濡れてゐるやうだ、雨の中に逞しい人馬がひしめいてゐるのだ、時折前方で銃聲が聞えては止む、後は又風を孕んだ丘の樹林に戻る、ぽつぐ\雨が降つて來た、兵隊は雨に頬を打たれ乍ら眠つてゐる、あすの總攻擊を前に逞しい眠りを貪る兵隊たちであつた、草の陰で煙草の火のやうに螢が光る、いよぐ\最後の丘にかかる、昨日の激戰で友軍が戰ひ奪つた〇〇峰だ

この〇〇峰 は標高五百メートルほどの細長い谷を隔てゝ敵の山と睨み合つてゐる、雨のため道は崩れ赤土の丘は泥の坂だ、〇〇峰の頂上へ這ひ上るまで記者はなんべんころんだか數えてゐない、夜明けに近く雨はやうやく止んだ、白々と丘の上から曙光が射して來た、その下を無名のクリークが北流してゐる、連日の雨で豐かに溢つた水は岸を崩して赤黃色のしぶきを敵陣の岸に叩きつけてゐる、その上はまた洗つたやうに一物もない丘である、丘の上に點々と黑く見えるのは敵の陣地壕だ、それこそ敵衢州防衞の最尖端だ、その前後には鐵條網もある、トーチカもある、戰車壕もある

この堅陣に 據るのは敵第三戰區の中核部隊に加へて急遽馳せつけた增援軍である、次第に明るむ曉の光に瞳をこらせば無氣味に光る機銃の掩蓋壕の中に蠢めく人影も見えるやうな氣がする、自分の全身は異常な緊張に引きしまつた、〇〇峰に布陣したわが前哨兵の目が今若く敵陣に注がれてゐるのだ

必ず貰はう蔣の首
南支戰線 泥の進擊續く

【廣東四日同盟】最前線部隊を追及する、昨日の灼熱と高熱に代りけふは雨と泥濘だ、この中を皇軍將兵はまるで泥人形のやうになりながらしかも怒濤の如く前進してゐる、裂けた戰闘帽も背嚢も泥まみれだ、雨は遠慮なく將兵を叩く、さらに靴の底に重い泥の靴をはいた將兵達は軍馬や車輛とゝもに轉んでは起き、立つては進み、その目は敵第七戰區余漢謀軍を撃碎しなければやまない旺盛な戰闘精神に燃えて炯々と光つてゐる、慾も榮譽も一切を忘れ、たゞ祖國を思ひ、大東亞建設の征途を進む純粹至高な精神をもつて皇軍將兵のみ耐へ得る試練だ、誰かゞ肩に喰ひ込む重い銃と背嚢をけりあげながら

『おい君早く蔣介石の死顏が見たいなあ』

と一人言のやうにいふ

『そりやあたり前だ、それでなくちや死んでも、死に切れぬ』

興奮に滿ちた戰友が答へる

に近づくにつれて道路の破壞は殖えて來る、雨はやうやく上つて時折り雲から洩れる陽光が泥だらけの戰場を照してゐる、歩けども、歩けども泥だ、遙かに激しい銃砲聲が聞えて來る

『あの百五十二師はわれぐ\から叩かれたことがないさうな、今に見ろ』

隊列の何處かで叫んでゐる、銃砲聲を耳にすると兵隊は疲勞も一瞬に忘れて勇みたつた、左方に急坂と絶壁とで出來た標高二百メートルの大高嶺が見える、頂上から俯瞰すると敵陣地は一望に收めることが出來る、この陣地も皇軍が夜襲で悉く突破してしまつた

敵の破壞した道路や橋梁は迅速なわが工兵部隊の活躍によつて忽ち修復した、車輛部隊は漸々となり愛馬は犇き合つて前進する、晴れ上つた戰場には再び灼けつくばかりの酷熱が襲つて來た、將兵達は帶から水蒸氣を發散して前進する

わが將兵の怒濤の進擊の前には何んの障碍も存在しないのだ、銃砲聲の轟きがまた一しきり灼熱の天地をゆすぶつてゐた

生活の根底から緊密を加ふ日泰
坪上大使親善を强調

【西貢四日同盟】滿一ケ月その間日泰經濟協定の成立およびこれに伴ふ兩國間の各種經濟取決め、泰國親善使節團の接待など重要任務を果した坪上駐泰大使は歸任の途三日飛行機で西貢着、四日大使府支所で記者團と會見左の如く語つた

『日泰經濟協定は攻守同盟の成立以來泰國側に不自然な從來の兩國經濟關係を是正したいとの希望があり、その機が熟し新協定の成立をみたものであり、兩者の關係は國民生活の根底に觸れて固く結びつきいよいよ緊密の度を加へて來た、わが國としても與ふ限り泰國の希望に應じ英米資本永年の桎梏によつて歪められた泰國經濟の改善向上に援助したい、東亞共榮圏の經濟基地の一つとして育成して行かねばならぬ、攻守同盟成立以來ピブン首相以下の指導者は勿論一般泰國民の對日友好精神も日を逐つて昂まりつゝあるが、國內には今なほ米英勢力の潛在變態的な華僑勢力の存在などが全く跡を絶つたとはいひがたい、この上とも泰國民に日本とあくまで同盟精神に立脚し、新東亞建設の聖なる目的完遂に邁進するといふ覺悟をもつてもらはねばならぬが、このためにはわが國民としても泰國に對し兄弟親愛の情を示し大國民としての襟度をもつて接しなければならぬ』

なほ同大使は五日も引續き滯在各方面と打合せの上六日盤谷へ歸任のはず

人的配置の問題は必要に應じて考慮
翼政問題を語る阿部總裁

【京都電話】翼贊政治會總裁阿部信行大將は四日午後桃山御陵に參拜のち同四時卅分京都ホテルに入つたが、翼贊政治會の當面の諸問題について左の如く語つた

翼贊政治會育成の根本方針については發足當初すでに確立されてゐるので新しく示す必要はない、もしこれに對し批判的に兎や角いふ者があればその缺點を是正するためお互が建設的意見を持ち寄り正しく導いて行かねばならぬ、かくしてその强力な政治力を結集し得るのである、本部の機構運營方針はさきの常任總務會で決つた大綱により明かである、あますは人的配置の問題であるが東京に歸つてから急速に決定するつもりである、地方に支部を置くかどうか今のところ一切考へてゐない、だが將來地方の會員が殖えて中央との連絡上地方に連絡所が必要になる際には時に應じ改めて考慮する、その場合翼贊會地方支部との對立が生ずることはあり得ないことだし、またさうしたことはあくまでも避けねばならぬ

悩む軍需生産
英國の生産相 慌てゝ米國へ

【リスボン三日同盟】ワシントンロイター電によれば、イギリス生産相リツトルトンは、三日ロンドンより空路ワシントンに到着したリツトルトンの訪米は米英の共同軍需生産計畫の再編成に關しアメリカ側首腦部と協議を行ふもので、大東亞戰で軍需資源を喪失した米英が窮迫の途を打開せんとの意圖に出たものと見られる、右につきイギリス側報道は左の如く傳へてゐる

リツトルトン訪米の目的は米英の軍需生産計畫再編成につきアメリカ側と協議を行ふにある、協議はワシントンで開かれることになつてゐる、協議の結果として生産委員會が新設されこれに聯合國代表も參加することゝなる

しかしてリツトルトン協議內容は大體左の如きものだと思はれる

一、武器その他軍需資材の劃一化を圖り聯合國は相互に生産武器を自由に使用し得るやうにする

一、このためアメリカの工作機械類ならびに軍需關係勞働者をイギリスに送る

一、アメリカは印度南阿および濠洲に對する軍需品輸送量を增加する

皇道學會は解消

臨戰態勢下の半島同志により日本精神の修得實踐に普及を目的として生れた皇道學會では講習會、講演會、修鍊會、勤勞奉仕その他をつづけて來たが、大東亞戰爭以來臨時保安會の實施を見たので、從來の同志的結合を解消し各々その所屬する總力聯盟其他の指導機關に轉屬して皇民的行動をつづけることになつた

昭南放送局
日本語講座開設

【昭南市四日同盟】昭南放送局は去る三月末早くも復舊短波放送を開始してゐるが、四日から當局の日本語普及運動に呼應して日本語講習を擴大し、昭南市內八十七の小學校には受信機を配備して右放送による日本語教育に協力してゐる、なほ同放送局では〇〇キロの强力な放送機の復舊を急いでゐたが、この程やうやく完成、近くわが南方放送の陣容を强化することとなつた

英に燃料動力省

【リスボン三日同盟】ロイター通信ロンドン電によれば、イギリス政府は今回新たに燃料動力省を新設することに決定し、三日正式に發表した、初代大臣としては現貿易局政務次官グウイリアム・ロイド・ジョージが任命される筈である

本社寄託獻金 四日扱ひ

國防獻金（陸軍）
五十七圓廿六錢 京城府櫻井町一丁目一二原田弘
五圓 京城府上往十里町匿名

國防獻金（海軍）
百圓 京畿道楊州郡和道面磨石公立國民學校兒童職員一同
五十圓 京城府櫻井町一丁目一二原田弘
三十二円九十四錢 仁川府濱町仁川海運組合員一同
日計 金二百四十五円二十錢也
累計 金七十四萬七千八百四十五円六十三錢也

皇軍慰問金
二十円 黃海道黃州郡天桂公立國民學校兒童一同
三十一円十六錢 京畿道廣州郡東部面東部公立國民學校兒童一同
日計 金五十一円十六錢也
累計 金十七萬三千六十六円二十九錢也

鮮內防空監視隊
六円 京城府昌信町貿易部指導員青山一平
累計 金一萬六千四百十四円十錢也

九軍神顯彰金
累計 二千四百八十円十三錢也

總計 金九十三萬九千八百六圓十五錢也

三國志【820】
（赤壁の巻）
吉川英治（作）　矢野橋村（畫）

日輪（二）

どんな英傑でも、年齡と境遇の推移と共に、人間のもつ平凡な弱點へひとしく落ちてしまふのは是非ないものとみえる。

むかし青年時代、まだ宮門の一警手にすぎなかつた頃の曹操は、胸いつぱいの志は燃えてゐても、地位は低く、身は貧しく、稀々同輩の者が、上官に媚びたり甘言につとめて、立身を計るのを見ると、

（何たるさもしい男だらう）

と、その心事を憫み、また部下の甘言をうけて、人の媚びを喜ぶ上官には猶更、侮蔑を感じ、その愚をわらひ、その卑に唾棄したものであつた。

實に、曾つての曹操は、さういふ颯爽たる氣概をもつた青年だつた。

ところが、近來の彼はどうだらう。赤壁の役の前、觀月の船上でも、うたゝ自己の老齡をかぞへてゐたが、老來まつたく青春時代の逆境に嘶いた姿はなく、ともすれば、耳に甘い近臣のことばにうごく傾向がある。

彼もいつか、むかしは侮蔑し、唾棄し、またその愚を笑つた上官の地位になつてゐた。しかも今の彼たるや人臣の榮爵を極め、その最高にある身だけに、その功名色にたいする慾望も、受け容れかたも、鄕黨、宮門、警手の一上官などの比ではない。

いま重臣董昭から、

（この際、魏公の位に登つて九錫を加へられては如何ですか）

と、すゝめられると、曹操は何を憚る容子もなくすぐに、

（さうだ、なぜ自分は、今まで九錫を持たなかつたらう）

と、すぐその氣になつて、朝廷にそのゆるしを求めた。もちろんその意の儘になる。彼は以後、魏公と稱し、出るも入るも、九錫の儀仗に擁られる身となつた。

九錫の禮といふのは。

一　車馬　大輅、戎輅。大輅ハ金車、戎輅ハ兵車ノ事。黃馬八匹。
二　衣服　王者ノ服。袞冕赤舄。朱ノ履タル事。
三　樂縣　軒縣ノ樂、堂下ノ樂。昇降必ズ樂ヲ奏ス。
四　朱門　門戸ハ紅門ヲ以テ彩ル。
五　納陛　朝陛ヲ登ル自由。
六　虎賁　常時門ヲ衛ル兵三百人、虎賁軍トイフ。
七　鈇鉞　鈇鉞各々一、鈇ハスナハチ金斧、鉞ハ銀斧ナリ。
八　弓矢　彤弓一、彤矢百。玈弓十、玈矢一千。朱弓、黑弓ナリ。

これをみた荀彧はかなしんだ。以前の曹操とは次第に變つて來るのを冷靜に彼のそばで眺めてゐたのは、彼よりは年下のこの荀彧といふ忠良な一臣だつた。

『丞相。すこしあなたも、お年をお召しになり過ぎはしませんか』

『なぜだ』

『初に返つたところがお見うけされます』

『予が九錫の禮を持つたことをいふのか』

勃然と、曹操は、色を動かした。

荀彧は、靜に。

『さうです。功いよいよ高きほど御自身は、謙讓をお示しあるべきです。然らずば、折角、三十餘年、漢室への忠誠をかざし、口に萬民のためと稱しながら、結局、あなた御自身の慾望に過ぎなかつたといふことになりませう。嘲笑、生死の迷妄を棄て、百難苦闘、今日を築いて來ながら、その精神と節操を、門の飾りや往來の見得などと取替へるなどは實につまらぬ人生の落ではありませんか』

涙をふくんで諫めると、曹操はぷいと席を去つて、

『おいおい。董昭をよべ』

と、近侍へいひつけながら、大步して去つてしまつた。

以來、荀彧は、病と稱して、自邸にひき籠つてしまつた。建安十七年冬十月、いよいよ南下の大軍は都を出ることになつたが、彼はなほ、曹操から呼びに來ても、

『このたびは御供できません』

と、參加を辭した。

つひに、使者が來た。

『魏公からのお見舞である』

と、使者は、食物の入つてゐる一器を彼の前に贈つた。見ると、器の上には『曹操親ラ之ヲ封ス』といふ紙が貼けてある。あとで開いてみると、器の中には何も入つてゐなかつた。

『お氣持は解つた……。嗚』

荀彧は、その夜、自ら毒を服んで死んだ。

新刊紹介

▲大陸手帖（小田嶽夫著）滿洲、北支の隨筆集、著者が作家であるだけに一貫した『或る種の思想』が流れてゐる（一円六十錢、東京・四谷・北伊賀町一二竹村書房）

▲會報（六月號）金及び貨幣通貨制其他（三十錢、京城・南大門通朝鮮殖産銀行友會本部）

文化

洋畫の特選陣【下】
鮮展評　南薰造

大平敬次郎君の「秋日」は初めから畫面を裝飾風に扱つたもので幾らか物が平面に思はれるが、目的が目的であつて見れば、しひて非難するには當らない。たゞ、どこかに冗漫な點がちよいちよいあるので、ゆつたりした繪だとも見えるが、今少し引緊め得る餘地はあつたらうと思はれる。

新井淳平君の「少女座像」も「自畫像」も共におだやかな手法で寫生を進めたやり方で、缺點の少い作品である。どちらも同じ程度の出來榮えで感賞に描かれてゐる

林敏夫君の「赤いブラウス」は、手なれた手法で描かれてゐる相當に技倆のある人と思はれる。缺點も極く少い。格別の野心もなく平易に進められた作品で、色のコンビネーションも簡單な色を集めて、溫かい黃、赤、青をうまく取扱つてゐるのがよい。

金鍾夏君の「風景」は、畫面は小さいが、この程度の繪畫の繪を、自分の力に應じて描きこんで行つたところに纏りのよさをみることが出來るし、また自然からの興味を感じたらしく、色も澁味を持ちながら、嫌しさがなく、眞に愛すべき作品であるといひ得る。徒らに大作のみに專心するのも考へもので、かういふやうに、みつちり取り組んで行くといふやり方を私は特に若い人たちに推獎したい

山下一彦君は「齋藤の家族」と「老人」の二つを出してゐるが私は「老人」に一應の興味を持つ。色も面白い取合せであるからだ。然し大きい方の「齋藤の家族」も無難で手堅く、むつくりと出來上つて危な氣がない。それは出來るだけ小さいものを省略したところに特色があるからで、特選にしたのはその大きい方の省略法を認めたからである。

新角度を採る『維新の曲』
新映畫評

◇…大映作品『維新の曲』脚色八尋不二、演出牛原虛彥、撮影三木滋人、大衆幕末史とでもいふか、維新前後の有名な事件が一通り語られてゐる

◇…然し根が大きな題材であるそれを約一時間半に盛つたのだから時間的にも無理はあるが、何しろ大映第一回記念作品といふのだから例によつて阪妻、千惠藏、寬壽郎、右太衛門等々ずらりと列べ、総ばな式に役を振り當てられてゐる、いはゆる顏見せ映畫だ

◇…然し從來の徒らに劍戟に終始した作品とは一寸趣きが違ふ、興味本位の筋をテキパキと運びこんで、然もそれを國民的意識の裡に昇華させてゐる點は特に注目さるべきだ、特に阪妻の熱演と裝置の良さを擧げ度い

京日俳壇　高濱虛子選

松蟬や清流を汲む女の子　福岡　清原枴童

庖廚に一尾の魚や菖蒲の日
夕風の誘ふさゞなみ蓮浮葉　京城　鈴木淚雨

手を觸れし牡丹雨をこぼしけり
牡丹や鮮女の長き裳もよし
一日の雨にいたみし牡丹かな　同　柳生柳人

簾高く釣られし檐や青嵐
內囊我家の紋は一蔭笠　同　沼透水

北漢の嶺のかぶさる庵の水
よく遊ぶ子によくまはる風車
月の出を待つごとくあり牡丹園　同　石川綠泥

南山の松のすそなる噴かな
集藥遅れ大空にある茄箱かな
王宮に雷とゞろける牡丹かな　同　菊池月日子

【募集規定】六月廿日締切▲官製ハガキに一人一枚一句づつ認め五枚限り▲京城日報社學藝部『京日俳壇』あて▲住所氏名明記のこと

半島映畫統合
朝映高麗發展的解消

半島映畫の統合新製作會社設立準備はその後關係方面で着々進められ近く正式發表をみるまでに漕ぎつけたが、これに先立ち朝映と高麗の二大朝鮮映畫製作會社は去月卅一日を以てそれぐ\業務を停止し發展的解散を行つた、なほこの間高麗は八年で製作作品が十四本朝映は五年で十本に及んでゐる

文化だより

◇朝鮮生命保險協會では代議士、法學博士小川鄉太郎氏を招聘して來る八日月午後五時から府民館で『大東亞戰下の經濟』と題する講演會を開催する

不連續線
電話問答

私の知人で鐵道の方へ勤めてゐる男があるが、この頃の旅行繁から、なかぐ\寢臺券が手に入らぬといつて、よく電話で頼まれることがあるさうな。

『さあ、一應調べては見ますが、下關でせうか、上關でせうか』

と聞き返すと

『いゝえ。本當ですよ』

といふ返事なので、もう一度

『ですから、上關ですか。それとも……』

と、聞きも終らぬうちに

『冗談ぢやありませんよ』

と、聲を勵ましたので

『あゝ、下關ですね』

と聞き受けたといふ話がある。

これこそ、正に生きた漫才。

全鮮鑛山を動員 地下資源増産期す

鑛山聯盟 鑛物増産期間實施

地下資源の積極的開發は大東亞戰下益々必要性を加重される現狀に鑑み總力運動鑛山聯盟では内地で戰時金屬増産強化期間を實施するのに呼應して半島でも鑛物増産強調期間を設けて地下資源確立を期することになり聯盟當局にて實施要領を研究中であるが成案を得次第理事會を開いて最後的決定を見ると同時に全鮮鑛山に主要鑛區の飛檄をなす筈である、この運動は限られた資源と勞力を以て最大の能率をあげるやう各鑛山に増産目標を定めて達成方を促進するもので内地の運動は金屬に限定してゐるに對して朝鮮では石炭を含めた全地下埋藏物の増産を期してをり準備の都合上内地の七月一日實施より幾分遅れる見込である

鮮滿支の商議理事會 大連で開催

大東亞共榮圈建設に北方經濟圈確立の重要なるに鑑み、大連商工會議所では來る十三、四の兩日同會議所において鮮滿支商工會議所理事會を開催、右經濟圈確立の具體方策および轉換期にある商工會議所機能の今後における運營方策等について討議するが、京城商議からは杉山理事が出席することになり、十日頃出發の豫定

南方纖維開發 一地域一業主義

【東京電話】南方纖維資源の開發は一地域一業主義を…へ輸出すべく目下準備を進めてゐる

一、佛印東部方面=三井、三菱商系統の纖維部門共同
一、ビルマ方面=日本綿花、
一、蘭印方面=東洋棉花、
以上それぞれ開發促進の指定會社として擔當することになる模樣である

炭價引上げには局鐵は反對

一般需要者との歩調注目さる

半島石炭消費の二五パーセントを占める鐵道局は炭業側が炭價引上運動を起してゐることに對し鐵道事業費(資本利子、償却を含まず)の三〇パーセント以上を超ゆる炭價の引上は重大影響ありと反對意向を表明してゐる、すなはち昭和十二年において平均十二円程度が現在廿七円を超えてをり、その炭質は著るしい低下をみせ昭和十二年列車一キロ走行に所要した石炭量は〇〇キロであつたが、十六年度では〇〇キロと四〇パーセント以上に及んで價格、質の相乘をもつていへば四倍の値上りに匹敵し、局鐵財政の内面がすでに一種の危險信號をあげてゐるとき運賃の引上等増收財源を新たに見出さない限り負擔力に餘力はないとするものである、是と關聯した一般需要者側の動きは一應炭業の苦境を認めてをりつつヂレンマに立つてゐるので未だ表面に現れて來ないが成行には多大の關心を寄せつつあるものの如くである

鮮産漆器を南方へ輸出 工藝協會で計畫

南方共榮圈諸地域を大東亞共榮圏交易圏内に包含した十七年度貿易新計畫の國策決定により、半島對南方共榮圏の物資交流促進を期待されるに至つたので、朝鮮輸出工藝協會ではこれに備へて鮮産漆器工藝品の積極的南方進出を企劃し目下鮮内各地の漆器製造組合に右輸出品を製作させてゐるが、これが完成を俟ち、先づ試驗的輸出として五十餘種類の鮮産漆器工藝品を佛印、泰を中心に共榮圏諸地域

内地熟練勞務者

半島へ供給方を要望

◇…林勞務課長歸任談

【釜山電話】人的資源動員問題のため東上中の林本府勞務課長は五日特急〃あかつき〃で歸任したが機上で次の如く語つた

◇……國家的に不足を來してゐる人的資源を比較的豐富な朝鮮からうんと供出せねばならぬことは言ふまでもないが、この反面質の點においても十二分の考慮を要するので、これが向上のために適當な修練機關を設置すべく研究中である、朝鮮としては農村再編成により勞務の調整をはかり以て人的資源を内地並に南方に供出し國家目的完遂に邁進せねばならぬ

◇……一方北方の護りと開發も重要であるのに鑑み、今回中央政府に對し朝鮮の人的資源を内地又は南方に供出すると共に内地の優秀な技術者、熟練勞務者、官公吏等を朝鮮に供給して産業開發を促進すべく要望した結果、政府も此案を諒として今後大いに人的交流を行ふことになつたがこの國民動員による人的交流は延いては内鮮一體の實を昂揚するに與つて力があると思ふ

元、仲、小賣の三段階

鹽賣捌規則けふ公布

八月一日より施行する

半島の鹽專賣に伴ふ鹽賣捌規則は五日府令をもつて公布、八月一日から施行されることとなつたが主なるものは賣捌人を元賣捌人、仲卸人、小賣人の三段階としたこと必要に應じ三ケ年内の期間で指定されること、賣捌價格は買受價格に營業利益、運賃を加へた金額で營業利益の算定方式は專賣局長、運賃は地方專賣局長の指定通知をする、特別用途鹽で一回の買受數量六千キログラム以上なる場合は專賣官署長がこれを特別價格で賣渡し得る特別用途の範圍は

一、再製鹽用、煎熬鹽用
二、醬油釀造用、味噌製造用
三、魚類及海獸鹽藏用、獸皮及魚皮保存用
四、肥料用、選種用、家畜用
五、化學工業用、石鹸製造用
六、鑛業用、窯業用右特定價格は專賣局長これを公示す、特別用鹽の賣渡を受けるものは願書を要する、また特別用鹽を買受けた者はその使用不能の場合は一ケ月以内に許可を受け所規定の處分を必要とする

半島沿岸航路の企業合同急展開せん

半島沿岸における海上輸送の統制はすでに帆船にまで及び漸次最後…

中部商工相談連絡會結成

京城をはじめ仁川、開城、春川、水原、滿州の各商工會議所をもつて結成せる中部商工會議所聯合會では、附設商工相談所事務の運營に萬全を期するため、中部商…

三陟開發役員 專務に素木、松谷兩氏就任

【鏡湖】三陟開發、三陟商會社では今度役員制を變更し從來の專務役一名を二名制に決定去る卅日役員會で互選の結果、左の如く決定した

專務取締役素木卓二氏、松谷正氏(主鐵兼任)その他の役員は變りなく只現調度課長伊東英二氏が取締役に榮進した

株式 小往來 朝新卅圓臺を上廻る

前場 新動機待ちに仕手双方とも態度積極的でなく、當面の整理商内に意を注いでゐるため、相場は小往來を繰返し、發展性に乏しい、…

後場 (晴り) 押目は買藥は…